

令和元年度
事業報告書

社会福祉法人祥風会
理事長 羽鳥 圭一

<目次>

サポートセンター P1～7



社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業 P8～9



特別養護老人ホーム飛羽ノ園 P10～24
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ P25～28
飛羽ノ園デイサービスセンター P29～38
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所 P39～40
土浦市在宅介護支援センター P41～42



特別養護老人ホーム憩いの里 P43～59
デイサービス憩いの里 P60～68
支援センター憩いの里 P69～70
土浦市在宅介護支援センター P71～72

黄色

飛羽ノ園デイサービスながみね P73～83
土浦市ふれあいセンターながみね P84～90

令和元年度

事業報告書
社会福祉法人 祥風会

サポートセンター

理事長 羽鳥 圭一
センター長 村山 直希

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階
TEL 029-896-3520
FAX 029-896-3522
URL <http://showfukai.com>
E-Mail info@showfukai.com

サポートセンター

1. 法人事業活動状況

①施設関連

「飛羽ノ園」は次亜塩素水対応加湿器を購入し、感染症の防止に努め、複合機の使用状況がスペックを超えていたため入替を行った。また、昨年度に引き続き漏水がみられていること、大型洗濯機の故障など、各種設備の老朽化が進んでおり計画的な機器の入れ替え、修繕が必要となっている。

「憩いの里」は排煙窓の修繕、特養の1階と2階のプリンターの購入、マットレスの取り換えを行った。台風による屋根の一部の剥がれや強風による軒下天井の崩落の修繕が必要な箇所は残っているため、早急に対応が必要である。その他、近隣住民の要望があった道路拡幅工事のため、北側の道路を土浦市に寄付した。

「ながみね」は飛羽ノ園・憩いの里に続き、電力会社を九電みらいエナジーに変更したことで電気料金の削減に繋がった。設備面ではウッドデッキの張替え、飛び石によるプール窓ガラス破損の修繕、事務所天井カセットエアコンの水漏れ修繕、マッサージチェアの購入、リコール対象となっていた正面玄関底の修繕を行った。また、研修室と共同で外部講師を招き腰痛予防教室を開催することでながみねの周知を図った。

令和元年度は台風や大雨等自然災害が多く、法人全体として設備面で大きく影響を受けた。緊急性、必要性、安全性を考慮した上で優先順位をつけて修繕・入替を行う必要がある。

②経営の透明性の確保

行事等のホームページ更新の頻度を多くすることで施設運営の透明性を図り、求職者や家族への安心感を得ることができた。令和2年度は令和元年より継続しているホームページリニューアルにより各種SMSを活用し、職員採用やオープンする保育園も含め各施設の情報発信ツールとして内容を充実させていきたい。

③人材確保・育成・管理

無料の求人広告サイトや職員紹介、低価格な人材紹介サイトの活用で採用に繋げることができた。職員紹介については制度の構築を行うことでより採用に繋がるのではないかと考えている。また、定期的な人事異動を実施したことで、介護の質の向上に繋げることができた。

法人内外施設での実地研修を取り入れることで職員の育成のみならず、自施設の強みや弱みを把握しサービスの質の向上につなげていきたい。

【各種規程の作成、変更】

- ・令和元年11月・・・職員就業規則変更（特別再雇用追加）
 - 職員給与規定変更（通勤手当の文言修正）
 - マイカー通勤管理規程変更（免許証の現認追加）
 - 嘱託職員就業規則作成
 - ビジネスマナーブック作成
- ・平成31年4月・・・職員就業規則変更（保育園追加、一部文言修正）
 - 職員給与規定変更（保育士追加、一部文言修正）
 - 役割等級制度規程変更（保育園追加）

【総括】

令和2年4月の桜川保育園の開設に向け、開設準備室を立ち上げた。当会としては初めての保育事業への参入であったが新築建物の打ち合わせ、備品や保育システムソフト、安心・安全カメラの選定をし、特に採用が難しい保育士等の人材採用に力を注ぎ、土浦市からのスムーズな移行ができるよう心掛けた。

引き続き各施設とも老朽化による建物、設備機器の不具合が目立ってきており、安心安全に心がけた施設運営を継続するためにも適切な予算計画を立て修繕や入れ替えを実施していく。

また、ふれあいセンターながみねの指定管理期間が令和2年度で期間満了となるので法人全体の収支バランスやながみねの存在意義、土浦市の方針等すべてを考慮し、令和3年度以降の運営のための指定管理事業者への応募をするかどうかを見極めていく必要がある。

2. 事業内容

*祥風会設立認可・・・平成元年6月26日

*創立登記・・・平成元年6月27日

*理事長 羽鳥圭一 就任年月日・・・平成21年8月10日

*土浦市小松 1-3-33 ハトリビル 6階(平成24年12月に移転)

*介護職員初任者研修事業開始年月日(平成26年4月1日)

平成26年2月14日指定(指定番号45)

*実務者研修事業開始年月日(平成30年6月1日)

事業所名		所在地	事業開始年月日	介護保険指定日	事業所番号
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム飛羽ノ園	茨城県 土浦市小松 3-18-18	平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ		平成24年4月1日	平成24年4月1日	0890300106
	短期入所生活介護支援事業所		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	飛羽ノ園デイサービス		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300431
	土浦市在宅介護支援センター		平成6年8月17日		
	飛羽ノ園居宅介護支援事業所		平成11年11月30日	平成11年11月30日	0870300175
ながみね (指定管理)	飛羽ノ園デイサービスながみね	茨城県 土浦市中村西根 2078-1	平成15年6月1日	平成15年5月29日	0870300811
	土浦市ふれあいセンター		平成23年4月1日		
憩いの里	特別養護老人ホーム憩いの里	茨城県 土浦市高岡 2315	平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900765
	短期入所生活介護支援事業所		平成26年4月1日 (増床20床)		
	デイサービス憩いの里		平成17年9月25日		
	土浦市在宅介護支援センター		平成17年9月25日		
	支援センター憩いの里 (居宅介護支援事業所)		平成17年9月25日		
		平成19年4月1日			

3. 理事会・評議員会開催状況

第1回理事会 令和元年5月23日(木) 法人本部にて 13:00～14:10 出席者6名	
第1号議案 平成30年度事業報告書(案)	
第2号議案 平成30年度決算報告書(案)	
第3号議案 桜川保育園の基本・実施設計及び管理業務委託業者の選定について	
第4号議案 桜川保育園の建設業者選定委員会の設置について	
第5号議案 定時評議員会の招集について	
第2回理事会 令和元年6月7日(金) 法人本部にて 19:35～19:40 出席者5名	
第1号議案 理事長の選任について	
第3回理事会 令和元年8月19日(月) サポートセンターにて 9:58～11:22 出席者6名	
第1号議案 桜川保育園新築に伴う資金計画について	
第2号議案 桜川保育園新築に伴う建築業者の選定について	
第4回理事会 令和元年10月24日(木) サポートセンターにて 13:50～15:05 出席者6名	
第1号議案 補正予算(案)	
第2号議案 就業規則の変更について	
第3号議案 介護員養成研修事業(介護職員初任者研修課程)及び介護福祉士実務者研修(通信課程)の受講料値上げに伴う学則変更について	
第5回理事会 令和2年1月30日(木) 書面表決 同意者6名	
第1号議案 桜川保育園開設にあたっての購入物品、業者指名について	
第6回理事会 令和2年3月5日(木) サポートセンターにて 14:00～16:14 出席者6名	
第1号議案 桜川保育園の施設長任命について	
第2号議案 令和2年度 当初予算(案)	
第3号議案 令和2年度 事業計画(案)	
第4号議案 就業規則の変更について	
第5号議案 桜川保育園新築に係る備品・道具の物品売買契約書(案)	
第6号議案 憩いの里の基本財産処分について	
第7号議案 定款変更(保育所の経営について)	
第8号議案 令和元年度第2回評議員会の招集について	
理事(6名)	
羽鳥 圭一(理事長)	羽鳥 栄子
増山 栄	今高 國夫(産業医・嘱託医)
和田 宏一(特別養護老人ホーム憩いの里 施設長)	河田 輝子(研修室室長)

第1回評議員会 令和元年6月7日(金) 法人本部にて 18:30~19:35 出席者6名	
第1号議案 平成30年度事業報告書(案)	
第2号議案 平成30年度決算報告書(案)	
第3号議案 桜川保育園の基本・実施設計及び管理業務委託業者の選定について	
第4号議案 桜川保育園の建設業者選定委員会の設置について	
第5号議案 理事・監事の選任について	
第2回評議員会 令和2年3月13日(金) 書面表決 同意者8名	
第1号議案 令和2年度 当初予算(案)	
第2号議案 令和2年度 事業計画(案)	
第3号議案 憩いの里の基本財産処分について	
第4号議案 定款変更(保育所の経営について)	
評議員(8名)	
高橋 敏夫	君山 毅
宮崎 三弘(嘱託医)	島田 源
高野 久	竹若 栄吾郎(弁護士)
物江 学(社会保険労務士)	中根 祐一

4. 監事監査の実施状況

令和元年5月15日(水) サポートセンターにて 10:00~	
理事の業務執行状況.....適正である	
法人の財産管理状況.....適正である	
法人・施設の業務執行状況...適正である	
法人・施設の会計状況.....適正である	
監事(2名)	
仲田 秀治	山本 義弘

5. 職員状況

<在籍者数(名)>令和2年3月31日時点

サービス区分	正職員	嘱託職員	パート職員	合計
サポートセンター	3	2	2	7
特別養護老人ホーム飛羽ノ園	25	1	8	34
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ	8	0	2	10
飛羽ノ園デイサービスセンター	5	0	4	9
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所	5	0	0	5
特別養護老人ホーム憩いの里	41	1	12	54
デイサービス憩いの里	6	1	4	11
支援センター憩いの里	1	0	0	1
飛羽ノ園デイサービスながみね	7	0	7	14
土浦市ふれあいセンターながみね	3	0	6	9
				154

<入職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	2	1	0	1	0	0	2	1	1	1	0	0	9
憩いの里	0	1	0	3	1	2	1	1	1	1	1	0	12
ながみね・ふれあい	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
サポートセンター	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
													28

<退職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	2	2	0	2	1	0	0	0	2	0	1	0	10
憩いの里	1	3	1	3	0	0	2	0	1	3	1	2	17
ながみね・ふれあい	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	4
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
													31

<離職率一覧>

施設名	平成30年度(%)	2019年度(%)	前年度比(%)
飛羽ノ園	17.0	16.1	△0.9
憩いの里	21.0	24.3	+3.3
ながみね・ふれあい	26.0	18.2	△7.8
サポートセンター	25.0	0.0	△25.0

※離職率(%) = 当期間内の退職者数 ÷ 当期首の在籍者数 × 100

<募集媒体一覧>

月	面接回数(回)
4	6
5	4
6	5
7	5
8	7
9	5
10	7
11	5
12	4
1	4
2	5
3	4
合計	61

媒体	採用(名)
インターネット	3
祥風会 HP	2
ハローワーク	6
人材紹介	2
職員紹介	2
直接応募	13
合計	28

6. 研修・講習・交流会状況

①内部研修

日時・場所	研修名・対象者	担当	参加者(名)
4月10日(水) 10:00~14:00 研修室	祥風会概要 新人・中途採用者	3 拠点管理者 相談員 栄養士 看護師	14
4月10日(水) 14:00~15:00 研修室	実務者講師研修 担当講師	河田	3
5月21日(火) 13:00~15:00 研修室	情報交換 介護支援専門員	河田	5
6月19日(水) 11:00~12:00 ふれあいセンター相談室	ニコニコ献立 3 拠点栄養士	河田	3
6月19日(水) 13:00~15:00 飛羽ノ園会議室	介護の基本・コミュニケーション技術 全職員	畑 河田	7
7月17日(水) 13:30~15:00 研修室	高齢者虐待防止 全職員	土浦市社会福祉協議会 地域包括支援センターうらら 羽成木綿子 館野有紀	12
10月23日(水) 11:00~12:00 憩いの里会議室	ニコニコ献立(災害時備蓄リスト) 3 拠点栄養士	河田	3
10月23日(水) 13:30~15:30 憩いの里会議室	食事介助・認知症医学的側面の基礎知識 全職員	坂本 矢島	7
11月22日(金) 13:30~15:00 研修室	研修室のあり方(事前アンケート) 相談員	河田	3

2月20日(木) 13:30~15:00 ふれあい多目的ホール	理学療法士から学ぶ「腰痛予防」 全職員及び地域住民	烏山訪問リハビリ 内藤幾愛	29
3月18日(水) 13:30~14:30 研修室(中止)	新入職員研修会について 相談員及び説明担当職員	河田	0
合計			86

②外部研修

年月日	研修名	研修場所	参加者(名)
令和元年7月12日	雇用管理セミナー	ハローワーク土浦	1
令和元年7月23日	「福祉のお仕事」求人事業所向けセミナー	茨城県総合福祉会館	2
令和元年9月27日	パートタイム・有期雇用労働法説明会	茨城県トラック総合会館	2
令和元年10月9日	ワ☆ノバージョン(1)	ふれあいセンター	1
令和元年11月13日	ハラスメントと人材育成	サポートセンター	2
令和元年11月21日	働き方改革セミナー	関彰商事株式会社	2
令和元年11月27日	ワ☆ノバージョン(2)	ふれあいセンター	1
令和元年11月28日	雇用管理責任者講習	茨城県人材育成センター	1
令和2年2月7日	退職手当共済制度業務実務研修会	茨城県総合福祉会館	2
合計			14

令和元年度

事業報告書
社会福祉法人 祥風会

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

理事長 羽鳥 圭一
室長 河田 輝子

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階

TEL 029-896-3521

FAX 029-896-3522

URL <http://showfukai.com>

E-Mail info@showfukai.com

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

1. 総括

介護職員初任者研修においては、修了後にモチベーションアップへとつながり、希望を持ち生き生きと働いていると自・他法人から評価を得ている。

実務者研修に関しては、当研修室の初任者研修修了生の受講生もあり、合格後は、継続して現場で就労していくという決意が伺われていた。振り返れば、講座は修了しても未だ介護福祉士の受験ができない方（実務経験3年未満）もいるので引き続きフォローアップし、介護福祉士の受験に向けた支援をしていく体制を保持したい。

2. 内容

(1) 介護職員初任者研修

① 実施期間

	期間	受講者数 (名)	修了者数 (名)
第1回	4月11日～7月18日	12	12
第2回	9月5日～12月12日	15	15
第3回	11月2日～2月15日	未開講（最低開講人数不足）	
合計		27	27

※法人内受講生3名含む

② 施設実習・見学会

施設名	実習：第1回 (名)	実習：第2回 (名)	見学会 (名)
飛羽ノ園	0	0	4
憩いの里	0	0	3
ながみね	0	0	4
合計	0	0	11

③ 年代別受講者数 (名)

世代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
第1回	1	0	0	0	1	3	2	2	0	1	0	1	0	1
第2回	0	0	2	2	0	1	1	6	1	1	1	0	0	0
男女別合計	1	0	2	2	1	4	3	8	1	2	1	1	0	1
合計	1		4		5		11		3		2		1	

(2) 実務者研修

① 実施期間

	期間	受講者数 (名)	修了者数 (名)
第1回	6月1日~12月日	15	15
合計		15	15

② 年代別受講者数 (名)

世代	20代		30代		40代		50代		60代	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
第1回	2	1	2	0	2	4	1	3	0	0
合計	3		2		6		4		0	

令和元年度

事業報告書
社会福祉法人 祥風会

特別養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

飛羽ノ園

理事長 羽鳥 圭一
施設長 椎名 早苗

〒300-0823 土浦市小松3-18-18
TEL 029-826-2941
FAX 029-826-2946
URL <http://showfukai.com>
E-Mail hiwanoen@showfukai.com

特別養護老人ホーム飛羽ノ園
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
ユニット型サテライト型地域密着型介護施設（とわ）

【1】運営（運営方針に対する報告）

1. 介護福祉施設

今年度は権利擁護の視点を持ち、尊厳の保たれた生活の場を提供するという目標達成に向けて稼働した。従来・とわ共に利用者のADLの変化や日々の状態に合わせて、多職種と連携を図り食事の時間をずらすケアの見直しを行い個々のニーズに合わせたサービスの提供ができた。しかし日々の業務に追われまだまだ実現できない事や気が付く事が出来なかったニーズもあると思われる。職員間で業務改善・見直しを行い今後個々のニーズの把握に努めサービスに反映させていきたい。

地域との結びつきについては従来・とわ合同の納涼祭や地域の公民館祭り参加以降、感染症等の影響もあり関わりの機会を作る事が出来なかった。情報収集不足の背景もあり民生委員や地域の方との関係作りや交流の機会を作り個々の日常生活の充実化やサービスの向上に繋げていきたい。

2. 短期入所・介護予防短期入所生活介護

今年度、稼働率は94.5%を占めることが出来た。家族のニーズや内外部の居宅介護支援事業所と連携し、介護方法について情報提供に対応することが出来た。しかし施設内での活動については利用者によっては物足りなさを感じる方もおり、それによってサービス利用に対して抵抗を持ってしまう事もあり、その点について居宅介護支援事業所や家族と連携を図りサービスの改善を行い利用者・家族のニーズに応えられるように運営していく必要がある。

3. 稼働率報告

種 別	従来		ユニット		ショートステイ	
	30年度	令和元年度	30年度	令和元年度	30年度	令和元年度
年間ベッド数(最大)	18,250	18,300	7,300	7,320	3,650	3,660
利用延べ人数	18,205	18,296	7,044	7,265	3,329	3,460
稼働率(%)	99.8	99.9	96.5	99.2	91.2	94.5

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1. 利用者推移・実数

(1) 入居者数

月	入所		退所	
	従来	ユニット	従来	ユニット
4	0	0	0	0
5	2	0	2	0
6	3	0	3	0
7	2	0	2	0
8	0	0	0	0
9	0	0	0	0

10	0	1	0	1
11	0	1	0	1
12	1	0	1	0
1	1	0	1	0
2	0	1	0	2
3	0	1	0	0
合計数（月平均）	9	4	9	4
前年度合計数	16（ 1.3 ）	10	16（ 1.3 ）	10

(2) 入居・退居経路

入居経路	従来型	ユニット	退居経路	従来型	ユニット
居宅	9	3	永眠	4	4
病院	0	0	病院	5	0
老健	0	1	老健	0	0
有料老人ホーム	0	0	居宅	0	0
計	9	4	計	9	4
前年度計	15	10	前年度計	16	10

(3) 要介護度別 ※令和元年3月31日現在

要介護度	性別				人数計		前年度	
	男		女					
	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ
1	3	0	1	0	4	0	4	2
2	0	1	4	0	4	1	4	0
3	5	1	11	6	16	7	20	11
4	4	0	15	9	19	9	14	5
5	1	0	6	3	7	3	8	2
合計	13	2	37	18	50	20	50	20
平均要介護度	3.0	2.5	3.6	3.8	3.4	3.7	3.4	3.3

(4) 年齢構成 ※令和元年3月31日現在

年齢（歳）		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
従来	男性	0	0	1	3	2	7	0	13
	女性	0	1	1	1	5	10	19	37
とわ	男性	0	0	1	0	0	1	0	2
	女性	0	0	0	1	3	5	9	18
合計		0	1	3	5	10	23	28	70
前年度		1	0	3	7	14	20	33	78

(5) 入居者要介護度別利用状況

①従来

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	4	4	20	14	8	50
	延人数	120	120	600	420	240	1,500
5	実人数	3	4	21	16	8	52
	延人数	93	124	623	477	230	1,547
6	実人数	3	4	23	15	8	53
	延人数	90	120	664	406	219	1,499
7	実人数	4	4	20	18	6	52
	延人数	100	124	589	558	179	1,550
8	実人数	4	4	19	18	5	50
	延人数	124	124	589	558	155	1,550
9	実人数	4	4	19	18	5	50
	延人数	120	120	570	540	150	1,500
10	実人数	4	4	19	18	5	50
	延人数	124	124	589	558	155	1,550
11	実人数	4	4	19	18	5	50
	延人数	120	120	570	540	150	1,500
12	実人数	4	4	18	20	5	51
	延人数	124	124	550	597	155	1,550
1	実人数	4	4	17	21	5	51
	延人数	124	124	527	620	155	1,550
2	実人数	4	4	17	20	5	50
	延人数	116	116	493	580	145	1,450
3	実人数	4	4	16	19	7	50
	延人数	124	124	496	589	217	1,550
令和元年度	実人数	46	48	228	215	72	609
	延人数	1,379	1,464	6,860	6,443	2,150	18,296
30年度	実人数	48	68	244	141	110	611
	延人数	1,460	2,068	7,320	4,150	3,207	18,205

②とわ

月	要介護度	1	2	3	4	5	合 計
4	実人数	2	0	11	5	2	20
	延人数	60	0	330	150	60	600
5	実人数	2	0	11	5	2	20
	延人数	62	0	341	155	62	620
6	実人数	2	0	11	5	2	20
	延人数	60	0	330	144	60	594
7	実人数	2	0	12	4	2	20
	延人数	62	0	372	124	62	620
8	実人数	1	1	12	4	2	20
	延人数	31	31	372	124	62	620
9	実人数	0	2	12	4	2	20
	延人数	0	60	348	120	60	588
10	実人数	0	1	11	6	3	21
	延人数	0	31	320	176	76	603
11	実人数	0	1	10	7	3	21
	延人数	0	30	300	170	90	590
12	実人数	0	1	10	6	3	20
	延人数	0	31	310	186	93	620
1	実人数	0	1	9	7	3	20
	延人数	0	31	279	217	93	620
2	実人数	0	1	10	7	3	21
	延人数	0	29	262	198	87	576
3	実人数	0	1	7	9	3	20
	延人数	0	31	217	279	93	620
令和元年度	実人数	9	9	126	69	30	243
	延人数	275	274	3,781	2,043	898	7,271
30年度	実人数	32	9	103	68	30	242
	延人数	949	273	2,972	1,972	878	7,044

《考察》

今年度は夏の時期に入ると永眠や医療機関に入院されての退居が続いたがその際のベッドコントロールについては昨年度の反省を活かしスムーズな対応が出来た。又、今年度も入居期間が短いケースが何件あった為、昨年同様、入居前の実態調査や準備を看護職員と連携し情報共有を行い、状態が安定し入居生活を送れる方を見極めていく必要がある。ユニットとわに関しては今年度も定員の約半数が入退居で入れ替わった。入居者の高齢化が進んだだけでなく、体調の変化等も予測して営業活動を行い日々の変化に対応できるようにベッドコントロールの準備をしていくことが必要だと感じた。

(6) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4	実人数	0	1	1	7	9	2	1	21
	延人数	0	4	2	86	155	38	3	288
5	実人数	0	0	0	6	11	2	2	21
	延人数	0	0	0	66	185	27	5	283
6	実人数	0	0	3	5	9	2	1	20
	延人数	0	0	15	77	123	58	2	275
7	実人数	0	0	2	8	7	2	0	19
	延人数	0	0	6	148	93	61	0	308
8	実人数	0	1	1	8	6	3	0	19
	延人数	0	7	4	118	98	66	0	293
9	実人数	0	1	1	6	7	3	0	18
	延人数	0	3	2	120	90	89	0	304
10	実人数	0	1	2	5	6	5	1	20
	延人数	0	2	21	71	107	90	2	293
11	実人数	0	0	1	4	7	4	1	17
	延人数	0	0	18	70	105	93	1	287
12	実人数	0	1	2	3	7	4	1	18
	延人数	0	4	20	67	134	62	1	288
1	実人数	0	1	1	5	7	3	0	17
	延人数	0	4	16	75	128	40	0	263
2	実人数	0	1	5	4	8	2	0	20
	延人数	0	4	57	56	152	15	0	284
3	実人数	0	0	5	3	8	2	1	19
	延人数	0	0	46	53	176	18	1	294
令和元年度	実人数	0	7	24	64	92	34	8	229
	延人数	0	28	207	1007	1546	657	15	3460
30年度	実人数	0	3	21	57	103	43	21	248
	延人数	0	8	139	513	1,537	910	198	3,305

《考察》

前年度と比較して長期利用者の新規の依頼が多かったと感じた。又、定期利用の方の状態の変化で定期利用から長期利用へ移行などもあったがその中でも、新規利用や緊急利用を飛羽ノ園内外の居宅介護支援事業所から依頼を受けて人数のバランスを考えて運営することが出来た。

今後も営業活動を継続し、飛羽ノ園内外のケアマネジャーと連携を図りつつ、施設職員と連携して施設内活動の充実化も図っていきたい。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園（従来型）

【3】重点目標：権利擁護の視点を持ち、尊厳の保たれた生活の場を提供する

〔計画内容〕

(1) 自己覚知と他者理解を深めコミュニケーション力をあげる。
職員全員がしっかりと認識したうえでの利用者とのかかわりが難しかった。また職員間の連携についても人によって違いが出てしまった様に感じる為、自分自身を認識し相手をしっかりと知ることが大切だと感じ、学習する機会を作りたい。

(2) 利用者家族の顔と名前を覚え日々の報告ができるようにする。
家族面会時などに、利用者の日常の様子を伝える事ができたと思うが、更に家族の要望などもしっかりと聞き取りをし、安心して頂けるよう努力が必要だと感じた。その為、各居室担当がしっかりと利用者や家族のニーズをくみ取り日々のケアに繋げていく必要がある。

(3) 報告・連絡・相談体制の強化
会議録など記録物が業務の中で上手く時間の都合がつかず業務内で終わらせる事が出来なかった。又、報・連・相が円滑にできず、他部署との連携にも支障が出てしまった。記録の仕方（事故報告書等）ももう一度学んでいく必要がある。

《考察》

ワンチームとして上手く連携して支援できなかったと思う。業務の流れで動くのではなく1つ1つの事をしっかりと考えて相手を思いやっていく事が必要だと感じた。職員1人1人の考え方や思いをくみ取り今後のケアに繋げていけるようにしたい。

2. 医務

(1) 長谷川式スケール実施状況

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い（診断結果は参考）

年齢(歳)	性別	点数							合計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	0	0	1
70~74	男	0	0	1	0	0	0	0	1
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
75~79	男	2	0	1	0	0	0	0	3
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
80~84	男	0	2	0	0	0	0	0	2
	女	1	0	2	0	1	2	0	6
85~89	男	0	1	1	0	3	0	0	5

	女	4	2	2	2	1	0	0	11
90～94	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	4	1	1	1	0	0	11
95～	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	1	1	1	0	0	0	7
計		16	12	9	4	6	2	0	49

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※令和元年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	32	9	8	8	22	20	4	26	20	5	21	24
前年度	41	7	2	12	29	19	2	32	16	4	12	34
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助	
人数	5	16	19	23	12	15	7	4	13	6	19	
前年度	18	13	19	23	17	10	9	3	13	12	13	

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	119	116	115	127	122	113	124	120	124	90	84	93	1,347
処置	120	77	76	76	117	70	113	140	180	168	111	101	1,349
軟膏・湿布	333	235	209	167	202	168	200	165	128	137	178	150	2,272
テープ	88	94	120	106	93	60	76	67	76	74	67	75	996
救急対応	0	1	1	3	1	0	1	0	0	0	2	0	9
看取り	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	5

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計
延人数	12	42	15	37	1	0	377
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	乳腺外来	
延人数(名)	1	1	209	4	4	9	
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器科				
延人数(名)	7	29	6				

(5) 入浴実施状況

①特養

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	150	143	130	157	144	154	156	144	156	107	134	152	1,727
一般浴	281	300	281	285	299	267	275	260	243	176	236	268	3,171
合 計	431	443	411	442	443	421	431	404	399	283	370	420	4,898

②短期入所生活介護（予防・空床利用含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数(名)	93	89	76	97	86	89	89	92	84	65	94	101	1055

《考察》

前年度と比べADLが低下し、全介助の方が増えてきている。職員の知識の向上・介護技術のスキルアップを目指し、他職種との連携もより必要になってくると感じた。要介護度3以上の方が多いため、利用者の状態に合わせたケアをしていくために業務の見直しも検討していく。

3. 給食

(1) 令和元年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,567	58.8	43.5	520	6.2	0.83	0.94	100	8.6
4月	1,675	62.6	36.1	576	10.6	0.93	0.97	116	8.6
5月	1,686	67.7	45.1	604	10.2	1.20	1.21	108	8.9
6月	1,693	60.5	38.7	583	10.4	0.87	1.00	115	9.2
7月	1,700	62.8	40.3	678	11.5	1.26	1.04	120	8.2
8月	1,700	61.8	40.3	649	11.7	1.14	1.02	120	8.3
9月	1,700	61.4	40.6	651	11.2	1.09	0.98	124	7.9
10月	1,673	61.8	38.5	650	10.7	1.19	1.03	119	7.5
11月	1,683	62.5	41.5	665	11.7	1.16	1.01	116	7.5
12月	1,665	62.7	38.5	642	11.5	1.18	1.01	117	7.5
1月	1,680	63.4	37.7	669	11.6	1.22	0.97	125	8.0
2月	1,682	63.7	36.5	614	11.6	0.97	1.03	122	7.6
3月	1,665	62.1	36.1	588	10.5	0.88	1.00	123	7.7

(2) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	17,620	17,510	17,569	52,699
ユニットとわ	7,250	7,202	7,226	21,678
ショートステイ	3,090	3,401	3,109	9,600
デイサービス	0	5,335	0	5,335
職員	366	2,555	366	3,287
来客	0	29	0	29
実習生	0	37	0	37
延人数(名)	28,326	36,069	28,270	92,665

②選択食

日時	A	B
4月29日	野菜コロッケ	チーズオムレツ
5月25日	海老カツ	鶏肉のきのこソース

6月13日	鯖の味噌焼き	鶏肉のトマトソース
7月26日	麻婆豆腐	白身魚の中華甘酢あんかけ
8月27日	三色丼	北海丼
9月25日	白身魚フライ	ハンバーグおろしソース
10月28日	ミートローフ	鮭のチーズ焼き
11月23日	牛丼	ネギトロ丼
12月19日	卵のエビチリソース	八宝菜
1月24日	豚肉の治部煮	白身魚のマヨネーズ焼き
2月25日	カツ玉煮	肉豆腐
3月25日	鯖の味噌煮	鶏のみぞれ煮

③行事食（従来型）

1	日 時	4月10日	行事名	4月イベント食
	山菜おこわ、鯛の木の芽みそ焼き、春の茶わん蒸し、フルーツ、清汁			
2	日 時	5月4日	行事名	こどもの日、5月イベント食
	空豆ごはん、かつおのたたき、ふきと筍の炊き合わせ、フルーツ、清汁			
3	日 時	5月14日	行事名	出前食
	釜飯			
4	日 時	6月18日	行事名	6月イベント食
	みょうがとしそのさっぱりしらすご飯、鮎の甘露煮、夏野菜の揚げ浸し、フルーツ、清汁			
5	日 時	7月6日	行事名	7月イベント食、七夕
	夏野菜のたっぷりそうめん、旬の天ぷら盛り合わせ、冬瓜そぼろあんかけ、フルーツ			
6	日 時	8月10日	行事名	納涼祭
	焼きそば、鶏唐揚げ、おにぎり、きゅうり漬け、フランクフルト、かき氷			
7	日 時	8月19日	行事名	8月イベント食
	穴子と枝豆の炊き込みご飯、鶏肉のゴロゴロトマトかけ、冷やし卵豆腐、フルーツ、冬瓜の味噌汁			
8	日 時	9月15日	行事名	敬老会
	赤飯、天ぷら盛り合わせ、炊き合わせ、卵豆腐、漬物、フルーツ			
9	日 時	9月28日	行事名	9月イベント食
	栗赤飯、さんまの竜田揚げ、菊花のおろし和え、芋ようかん、清汁			
10	日 時	10月10日	行事名	10月イベント食
	松茸ご飯、里芋の海老団子、白和え、ぶどうゼリー、秋の吹き寄せ汁			
11	日 時	11月18日	行事名	11月イベント食
	鮭はらこ飯、秋の天ぷら盛り合わせ、かぶと人参の柚なます、ババロア、鶏団子汁			
12	日 時	12月15日	行事名	クリスマス会
	骨付き鶏もも照り焼き、イチゴショートケーキ、フルーツ盛り合わせ			
13	日 時	12月25日	行事名	クリスマスイベント食
	エビピラフ、照り焼きチキン、ベーコン入りポテトサラダ、ゼリー、きのこコンソメスープ			
14	日 時	12月31日	行事名	年越しそば
	おろしなめこそば、天ぷら盛り合わせ、酢みそかけ、ピーチゼリー			
15	日 時	1月1日	行事名	元旦

	赤飯、お煮しめ、お刺身、きんとんの寒天寄せ、味噌汁			
16	日 時	2月3日	行事名	節分
	ちらし寿司、節分汁、いわしのつみれ梅おろし、菜の花の和え物、イチゴプリン			
17	日 時	3月3日	行事名	ひな祭り
	にぎり寿司、けんちん汁、含め煮、もち入りぜんざい			

④甘味処

日 時	おやつ名
4月13日	ケーキ
5月4日	ホットケーキ
6月8日	ケーキ(不二家)
7月13日	スイカ割
8月3日	水ようかん
9月21日	おはぎ
10月9日	お好み焼き
11月16日	焼き芋
12月21日	プリンアラモード
1月11日	おしるこ
2月12日	チョコフォンデュ
3月21日	ケーキ

(3) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	3	3	37	7	1	0	13	5	19	13	11	6	118

(4) 会議・研修

- ・給食会議 毎月第4水曜日
- ・全体会議 毎月10日
- ・茨城県栄養士会研修、茨城県福祉栄養士会研修、土浦地区給食研究会研修、老施協栄養士研修

《考察》

今年度は利用者の入退居が去年の半数と少なかったが、平均年齢は87歳と高齢化している。その為、食事介助が必要であったり嚥下が悪くなったり、摂取量が減少したり等のご利用者が増えてきている。その都度、看護師・介護職員・栄養士で話し合いも持ち食事形態の変更や、嘱託医に相談しエンシュアを出して頂いたり、家族と相談し濃厚流動(ゼリー状やドリンク状)を提供した。最後まで口から食べることや食べる楽しみを持つことが出来るように取り組んだ。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居(名)	9	12	15	14	9	12	12	8	11	12	15	10	139
SS(名)	3	1	3	3	2	4	1	2	2	2	5	5	33

※開催合計 入居 27回 SS 20回

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	0	4	2	2	0	0	0	1	1	6	1	1	18

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

1	入所基準検討委員会	入所希望者や家族の状況・緊急性等も踏まえ、公平な判断に基づき入所の案内ができた。今後も、全体像を的確に把握できるように背景や細かい部分の聞き取りにも力を入れると共に、申し込みリストの整理にも努めていきたい。
2	身体拘束廃止委員会	知識も浅く、全職員への周知ができず、対応の統一が出来ていなかった。今後は職員一人一人が意識しながら日々のケアにあたるように取り組んでいきたい。
3	感染症対策委員会	インフルエンザに関しては流行前に会議を開催し対策をとることができたが、ノロウイルスへの認識が薄く感染者が出てしまったため、次年度は他の感染症への対策も早めに行い、体調不良者の対応が確実に行えるよう職員に周知できるようにしたい。また、環境整備や清潔保持においても不十分な点が多かったため改善していく。
4	災害防火委員会	毎月災害防火訓練を行なっている為職員の動きがスムーズになってきている。訓練内容が慢性化してきている為、突発的な訓練も必要と感じる。
5	認知症対応	声掛け等、職員によっては口調が強くなってしまいうこともあったため、職員一人一人が認知症の理解を深めていける様にしたい。
6	食事・水分委員会	食事は生活の中で楽しみの一つでもあるため、食事環境やメニューをもう少し工夫できればよかった。
7	排泄・運動委員会	職員によって技術に差があるため、スキントラブルを防ぐためにも技術向上を目指していきたい。また利用者に合った排泄方法や使用物品の見直しも必要だと感じた。
8	入浴委員会	入浴実施日の体調により入浴回数等不十分なこともあった。気持ちよく過ごしていただけるように、一人一人の状態や体調に合わせた清潔保持を提供していきたい。
9	寄添う看取り委員会	勉強会を1度行ったが具体的に他職種連携しての支援までできなかった。利用者や家族の心の支えとなれるようなケアを行えるように今後も知識を深めていきたい。
10	褥瘡予防委員会	褥瘡予防の為、ベッドで休む時間を確保したりクッション等で圧迫防止をしたりと対応してきたが、尿汚染等で皮むけが悪化してしまうことも見られた。今後どのようにスキントラブルを軽減できるかを考えていきたい。
11	胃ろう・吸引対策委員会	研修への参加を通して知識の習得ができた。全職員がタッピング等の知識や技術を学べるような勉強会を来年度は開催したい。

12	営繕委員会	物品や備品の保管場所を把握している職員が少ない。また、物品破損時の報告・相談は出来ているが簡単なものについての修理ができる職員が少ない為、今後対応できる職員を増やしていく必要がある
13	広報委員会	広報誌では、文章や写真とのバランスを考えて読みやすさに重点を置き発行できた。ホームページについては行事後に間をあげずに更新はできたが行事が少ない時期に関しては更新の頻度が少なくなってしまったので、来年度の課題として行事が少ない月などについても日常の様子分かるような事を模索して家族に安心を届けられるようにしていく。
14	レクリエーション委員会	外出の機会をなかなか作れなかった。また中庭やベランダに花を植えても利用者に見ていただく機会が少なかったため、来年度は外出機会を増やすと共に、中庭等の環境作りも利用者と一緒にいき、季節を感じて頂けるようにしたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
4	7	花見ドライブ	4	4	0	8
4	13	甘味 (プリン)	56	7	0	63
4	21	4月誕生会	1	2	0	3
5	4	甘味 (ホットケーキ)	54	7	0	61
5	14	日帰り旅行	11	11	0	22
5	26	5月誕生会	1	2	0	3
6	8	甘味 (ケーキ)	57	4	0	61
6	22	6月誕生会	5	5	0	10
7	13	甘味 (すいか割)	54	14	0	68
7	21	7月誕生会	4	4	0	8
8	3	甘味 (水ようかん)	58	4	0	62
8	10	納涼祭	59	23	0	82
8	25	8月誕生会	8	2	0	10
9	15	敬老祝賀会	59	15	0	74
9	21	9月誕生会	2	2	0	4
9	21	甘味 (おはぎ)	58	5	0	63
10	6	買い物ドライブ	2	2	0	4
10	10	甘味 (お好み焼き)	58	8	0	66
10	27	10月誕生会	3	2	0	5
10	30	甘味ドライブ	3	3	0	6
11	7	散歩	4	4	0	8
11	8	散歩	3	3	0	6
11	16	甘味 (焼き芋)	57	5	0	62
11	17	カモメクルーズ	3	3	0	6
11	24	11月誕生会	3	2	0	5

11	27	秋の運動会	60	12	0	72
12	15	クリスマス会	58	20	0	78
12	16	12月誕生会	4	4	0	8
12	21	甘味（プリンアラモード）	58	4	0	62
1	11	甘味（おしるこ）	58	5	0	63
2	6	イルミネーションドライブ	4	4	0	8
2	12	甘味（チョコフォンデュ）	56	5	0	61
2	23	2月誕生会	7	2	0	9
2	23	豆まき	56	12	0	65
3	21	甘味（ケーキ）	53	5	0	58
3	22	3月誕生日会	6	2	0	8

《考察》

毎年恒例・ユニット合同の元旦式は、感染症蔓延の為実施できなかった。施設内に感染症を持ち込まないように努めていきたい。

6. 研修

(1) 内部研修報告

①施設全体研修（従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務）19:00～19:30

月	日	内容（対象者）	参加人数
4	10	高齢者の権利擁護について	43名
5	10	人権擁護について	35名
10	10	外部研修報告会	40名
2	10	感染症対策について	38名

②部署内研修

7	10	正しい食事介助の仕方	8名
9	10	感染症について	17名
11	8	看取り介護について	20名

(2) 外部機関研修

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数
第1回認定調査員新規研修	4月25日・ 5月22日	ケアマネジャー	要介護認定等に関する基本的な考え方	1
土浦市民間社会福祉施設協議会代表者会議	5月10日	施設長	第1回代表者会議	1
喀痰吸引等実地研修	5月13日	介護職	胃ろうによる経管栄養	1
福祉人材確保に関する研修会	5月20日	施設長	相談員等に悩みに応える～ 介護施設の職員定着のポイント	1
R1年度社会福祉法人・施設一搬検査に係る説明会	5月21日	施設長・相談員	施設一搬検査説明会	3
社会福祉施設新任職員研修	5月27日 ～28日	介護職	～ビジネスマナーに基本～	1
介護サービス施設・事業所	5月28日	相談員	業務管理体制等について	2

管理者等研修会				
茨城県老人福祉施設協議会	5月29日	施設長	老人ホーム等施設長会議	1
県南・土浦ブロックケアマネ研究会	5月31日	相談員	定例会	3
いばらき介護職員等合同入職式	5月31日	介護職	合同入職式	2
喀痰吸引等実地研修	6月6日	介護職	胃ろうによる経管栄養	1
安全運転管理者講習会	6月19日	相談員	運転講習会	1
内部研修	6月19日	介護職	介護の基本	3
指定施設不在者投票	6月25日	相談員	事務説明会	1
感染対策に関する研修会	6月29日	介護職・看護師	感染症対策～何が必要・何ができる？～	2
土浦地区安全運転管理者協議会	7月2日	相談員	定期総会開催	1
交通安全運転管理者講習	7月10日	施設長	講習会	1
内部研修	7月17日	介護職・看護師	高齢者虐待防止研修	10
土浦市防火・危険物安全協会	7月18日	施設長	新年度の協会事業総会	1
雇用管理責任者講習	7月30日	施設長	事業者での働きやすい職場づくりが重要	1
給食施設従事者研修会	8月28日	管理栄養士	給食施設における衛生管理	1
民間社会福祉施設職員の集い	9月17日	介護職	ポーリング大会	2
レクリエーション基礎研修	9月19日	介護職	施設で役立つレクリエーション体験	1
通所介護事業所研修会	9月20日	相談員	個別機能訓練計画書の作成	1
ワノ・バージョン	10月9日	介護職	アンガーマネジメント	7
県南地区看護師定例会	10月16日	看護師	情報交換会	1
花いっぱい運動花壇づくり	10月31日	事務員	種から育てる花壇づくり	1
ハラスメント研修	11月13日	施設長・相談員	ハラスメントについて	7
県南地区看護師会	11月17日	看護師	くきの里へようこそ	1
年末調整説明会	11月18日	事務員	説明会	2
全国老人福祉施設大会	11月20日～ 21日	施設長・相談員	あなたが創る共生社会	1
キャリアアップ支援研修	11月23日	介護職	スキルアップを支援	1
ワノ・バージョン	11月27日	介護職	メンタルケア	5
キャリアアップセミナー支援研修	11月30日	介護職	スキルアップを支援	1
土浦市民間社会福祉施設協議会	12月2日	介護職	虐待防止・権利擁護について	1
ユニットリーダー研修	12月2日～ 4日	介護職	ユニットリーダーとしての 取得すべき知識・技術研修	1
キャリアアップ支援研修	12月7日	介護職	スキルアップを支援	1
認定調査員現任研修	1月21日	ケアマネジャー	要介護認定の仕組みと認定調査の実際	7
介護相談員派遣事業	1月29日	相談員	情報交換会	1
能力開発啓発セミナー	2月4日	相談員	地域に求められる事業所を目指す	1
人生の最終段階へと続く口腔ケア	2月16日	介護職	死生学と口腔ケアの関係	1
茨城の地域課題を知る	2月18日	ソーシャルワーカー	事例発表・ワークショップ	1
合計				86

(3) 老人福祉施設協議会の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修

今年度は感染症対策等や業務都合の為、あまり参加する事が出来なかった。参加する職員に偏りがあつたため、来年度は参加職員の幅を広げ多くの職員が知識を得て、他施設職員と交流を図る機会を作り、新たな情報や刺激を受け良い施設運営に繋げていきたい。

《考察》

昨年度に引き続き、今年度も様々な研修に参加する事ができた。来年度も学ぶ機会を増やす・作る事を継続しながら研修に参加する職員を増やし、職員のスキルアップに繋げてよりよい施設運営に繋げていきたい。

7. 実習生受入れ

学校名他	実習月	日数	人数	延日数
筑波研究学園専門学校	9	5	2	10
筑波総合福祉専門学校	3	20	1	20
アール福祉専門学校	8・9	12	3	36
土浦市役所	11	1	6	1
朝日国際専門学校	5・6	27	3	81
AOI国際福祉専門学校	10	5	2	10
合 計		70	17	158

8. ボランティアの受け入れ

ボランティア名	回数	総人数	ボランティア名	回数	総人数
美々の会	27	39	散髪	25	39
介護支援ボランティア	38	114	小松町内地区	1	4
介護相談員	7	15	四中地区福祉部	1	18
小鈴会	1	3	ピースメーカー	1	8
桜の会	7	35	ひまわりクラブ	1	3
すみれ会	1	8	小松育成会	1	4
こもれびの会	1	3	中高津お囃子の会	1	7
合 計				113	300

9. 地域貢献活動「ふらっと HIWA～介護のことなんでも語らおう」

【開催実績】○定期開催・・・毎月第一日曜日 9：00～12：00

○イベント開催・・・年間2回“地域支え合い勉強会”

・6/2：第1回「笑いヨガ勉強会」参加者：21名

・12/8：第2回「身元保証人の必要性と役割について」参加者：23名

《考察》

今年度は地域住民だけでなく、家族や職員に向けても必要とされるテーマを選択して開催した。笑いヨガ勉強会をはじめ身元保証人の必要性と役割についてとどちらも20名以上と多くの方に参加して頂いた。参加者に好評を得られただけでなく参加した職員も勉強の機会になり来年度も引き続き「地域に開かれた施設」としての役割を持ち、そして本活動が職員の専門性の向上となる機会になるように努めていきたい。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園（とわ）

【1】 重点目標：入居者の生活を第一に考え、楽しみが増えるよう

地域との繋がりをもった生活を提供する

〔計画内容〕

(1) 地域との関わりを増やす

なかなか外出の機会を作れず園内行事での関わりしかできなかった。入居者や職員の入れ替わりがあり、通常業務で手一杯になってしまった。新しい社会資源については、探すところで止まってしまい実際にボランティア等に繋げることが出来なかった為、今後も課題としていきたい。

(2) 趣味活動の推進

とわ菜園の「緑のカーテン」は日照不足で失敗してしまったが、菜園自体はうまくいったと思われる。しかし職員が主体となってしまう、入居者の参加が少なかったため、今後は入居者と職員と一緒に菜園作りに取り組んでいく機会を増やしていきたい。趣味活動については、地域との関わりや新たな社会資源の発掘が進まず、入居者との関りも通常業務に追われ深めることが出来ず上手くいかなかった。

(3) 24時間シート、介護過程に即した介護・支援の提供

ワイズマンを活用し、24H シートの作成をユニットリーダー中心に行う事が出来たが、定期的な見直しができず作成しただけとなってしまった。来年度に向けて見直しを行う体制作りを行っていきたい。

《考察》

とわ全体としては、職員の入れ替わりがあり業務を行う事で手一杯になってしまった。しかし、とわ菜園や園内の行事については協力して行ないうまくいった部分もあった。ユニット間及び他部署と連携しながら入居者が楽しく生活を送れるようなケアを目指していきたい。

1. 医務

(1) 長谷川式スケール実施状況

※30点満点中 20点以下は認知症の可能性が高い（診断結果は参考）

年齢	性別	点数							計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	0	1	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
80～84	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	2	0	0	0	0	1	3
85～89	男	0	0	0	1	0	0	0	1

	女	1	2	0	1	0	0	1	5
90～94	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	2	1	0	1	0	0	6
95～	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	2	0	1	0	0	0	3
計		3	10	1	3	1	0	2	20

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※令和元年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	16	3	1	3	14	3	0	15	5	4	12	4
前年度	17	2	1	3	9	8	0	15	5	4	12	4
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)		移 動 (車 い す)			
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助	
人数	7	9	4	11	7	2	4	1	7	2	6	
前年度	7	9	4	11	5	4	4	1	8	4	3	

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	0	0	17	0	0	0	18	30	33	30	30	31	189
処置	57	57	66	60	62	36	62	58	60	60	15	5	598
軟膏・湿布	9	74	30	11	14	14	36	46	40	22	26	19	341
テープ	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	116	93	1,433
救急対応	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
看取り	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計	
延人数	2	4	2	0	12	0		409
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	婦人科	耳鼻科		
延人数	0	1	374	1	1	1		
受診科名	形成外科	耳鼻咽喉科	消化器内科	麻酔科				
延人数	8	1	1	1				

(5) 入浴実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
むべ	76	87	80	83	84	80	82	82	90	82	79	81	986
わかくさ	79	82	79	81	76	74	68	81	74	78	75	86	933
合 計	155	169	159	164	160	154	150	163	164	160	154	167	1,919

《考察》

ADLについては、入居者の入れ替わりはあったが前年度との差はほとんどみられない。入居してから3年以上の入居者が多いため今後ADLが低下していき介助量も増えていくと思われるが、出来る限り本人の能力を生かしながら維持していきたい。入浴については、体調不良等で回数に変動はあるが入浴ができない場合はベッドバスや着替え等行い清潔保持に努めている。今後もしっかりと対応ができるようにしたい。

2. 給食

(1) 食事提供状況

①行事食（ユニット・とわ）

1	日 時	8月24日	行事食	わかくさ出前食
	うなぎ			
2	日 時	10月26日	行事名	わかくさ行事食
	バーベキュー			
3	日 時	12月15日	行事名	わかくさ・むべ合同行事食
	けんちんうどん			

②甘味処（ユニット・とわ）

日 時	おやつ名
8月24日	フルーチェと牛乳寒天
10月31日	ホットケーキ・アイス
11月8日	スイートポテト
2月	フルーチェ

(2) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	1	0	20	0	1	0	4	2	16	1	2	2	49

※開催回数 15回

《考察》

入居者の高齢化と状態の変化に伴い、嚥下の低下の為介助が必要になる・摂取量が減少しているといった入居者が増えた。他職種で話し合い、本人の嗜好に添った食事やおやつを用意した。様々な食事形態と補助食品等を取り入れ、少しでも栄養を摂れるように工夫した。

3. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	3	3	7	1	3	3	5	3	7	2	3	4	44

※開催合計 12回

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	0	1	2	1	3	0	0	3	1	1	0	1	13

4. 委員会

(1) 委員会活動報告（以下はとわのみの委員会）

5	物品購入委員会（とわ）	物品の過不足なく、しっかりとした管理が行えた。来年度はパット類の見直しもあるので、入居者に合った物品を適切な量で発注していきたい。
15	運営推進委員会（とわ）	業務上、委員会を開催できないことが多かった。来年度は、地域密着型の施設として、民生委員の方や高齢福祉課の方と情報意見交換を行いながら地域の状況を理解し、地域に根差したかわり方ができるように取り組んでいきたい。
16	リハビリ委員会（とわ）	PTと連携しながらリハビリを行ってきたが、すべての方を行う事は出来なかった。個別リハビリを積極的に行っていききたい。
17	とわ菜園委員会（とわ）	今年は日照不足により緑のカーテンがうまくいかなかった。菜園では、定期的に野菜を栽培し、うまくいかないものもあったが、今後も入居者と一緒に取り組みながら、自分たちで栽培したものを食す機会も作っていききたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
6	12	外食会（かねぎ）	3	3	0	6
7	22	わかくさ昼食会	10	3	0	13
8	10	納涼祭	20	8	0	28
8	24	甘味	10	2	0	12
8	18	わかくさ昼食会	10	2	0	12
9	15	敬老祝賀会	20	6	0	26
12	15	クリスマスパーティー	19	7	0	26
1	1	元旦式	20	5	0	25
2	3	節分（豆まき）	20	5	0	25

《考察》

感染症の影響で通年従来と合同で実施していた元旦式行事が、とわだけでの実施となった。節にあった行事を取り入れながら入居者と楽しむ機会がもてた。

飛羽ノ園デイサービスセンター指定通所介護事業所
 指定通所介護・介護予防通所介護事業
 土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
 (通常規模型・利用定員 25 名)

1. 運営

昨年度に引き続き利用者参加型の取り組み「みんなのありがとう」の掲示板を実施した。利用者個々の自主性や意欲を引き出すことが出来るよう、日常生活での関わり方の工夫や利用者一人一人が参加できる活動を行う事で QOL の向上につなげることが出来た。また、コップ洗いや洗濯たたみ、テーブルふきなどの活動を通して、利用者間のコミュニケーションを活性化し、良き交流の場面を作ることが出来ていた。

すべての利用者の活動の可能性を考察し、一人一人の力を発揮できるような関わり方、自立支援の考え方を身につける足掛かりともなった。

その他、介護支援専門員と連携強化のために毎月の 1 回の定期報告を継続し、状況変化があった際には電話や FAX にて、その都度報告をした。また、送迎時には家族とのコミュニケーションを密に行い、地域住民へも挨拶や声掛けを行い、地域で必要とされるデイサービスとなる事が出来るよう努めることが出来た。

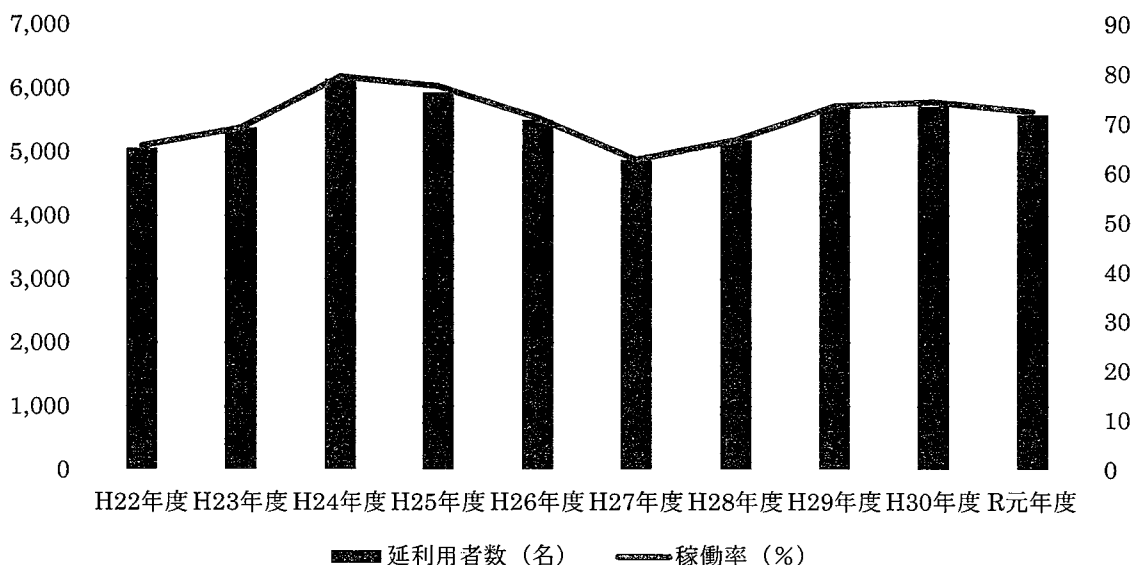
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数 (日)		26	27	25	27	27	25	26	26	25	24	25	26	309
実人数 (名)		55	52	53	55	55	55	59	58	61	58	59	59	679
延人数 (名)		453	499	459	491	514	432	467	481	479	436	430	439	5,580
平成 30年度	平均利用者数 (名)	18.7	18.2	19.3	20.0	19.9	20.3	19.3	19.4	17.9	16.1	16.7	16.5	18.6
	稼働率 (%)	74.0	72.8	77.2	80.0	79.6	81.2	77.2	77.6	71.6	64.4	66.8	66.0	74.4
令和 元年度	平均利用者数 (名)	17.4	18.5	18.4	18.2	19.0	17.3	18.0	18.5	19.2	18.2	17.2	16.9	18.1
	稼働率 (%)	69.6	74.0	73.6	72.8	76.0	69.2	72.0	74.0	76.8	72.8	68.8	67.6	72.4
稼働率 (%) 前年度比		△4.4	+1.2	△3.6	△7.2	△3.6	△12.0	△5.2	△3.6	+5.2	+8.4	+2.0	+1.6	△2.0

(2) 年間利用状況の推移

延利用者数（名）・稼働率（％）推移



	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延利用者数 (名)	5,055	5,376	6,140	5,928	5,499
稼働率 (%)	65.6	69.2	79.6	77.6	71.2
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延利用者数 (名)	4,874	5,180	5,681	5,715	5,580
稼働率 (%)	62.8	66.8	73.6	74.4	72.4

(3) 介護度別利用状況

地域の方での紹介による新規利用があった。そのため、事業対象者や要支援 1 の方の利用が増加した。また、要支援 2 の方の状態の変化に伴い、要介護 1 の利用も増加した。要介護 3 の減少に対しては、入所サービスへの変更によるものが多かった。

	平成 30 年度		令和元年度		前年度比	
要介護度	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)
事業対象者	0	0.0	143	2.6	+143	+2.6
支 1	83	1.4	226	4.0	+143	+2.6
支 2	987	17.3	706	12.7	△281	△4.6
1	2,121	37.1	2,425	43.5	+304	+6.4
2	1,092	19.1	1,112	19.9	+20	+0.8
3	1,108	19.4	627	11.2	△481	△8.2
4	22	0.4	33	0.6	+11	+0.2
5	302	5.3	308	5.5	+6	+0.2
介護保険外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	5,715	100	5,580	100	△135	—

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組み

職員一人一人のケアに対する考え方の変化と、利用者参加型のデイサービスの展開、また、利用者各々の生活の力を借りることで、ADL・QOL向上へと繋げることができた。

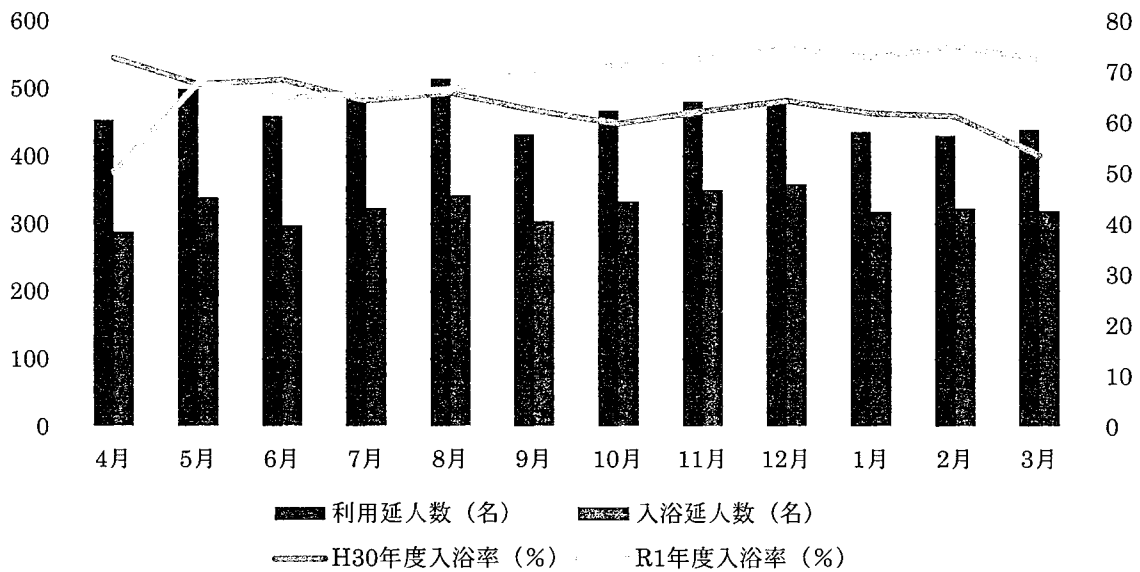
(2) 通所介護・介護予防通所事業計画書作成

利用者の変化に速やかに対応できるよう、日々のケース記録や職員全体の報告・連絡・相談の内容を活きたプランへとすることが出来た。変化があった際には、ケアマネジャーや家族、他サービス事業所と情報交換し計画の立案・変更を実施した。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

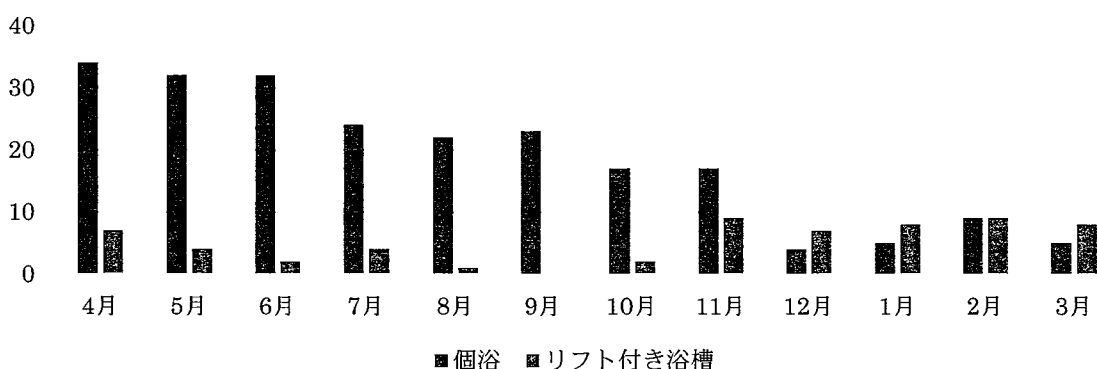
看護師・介護士で連携しその日の健康チェックを実施した。利用者の意向やその日の体調、気分に応じ柔軟に介助方法や浴槽を選択し支援を行う事が出来た。全体的な入浴者数の増加があった。単身世帯、老夫婦世帯の増加により入浴ニーズのある利用者が増加したこと、また、介護度の高い利用者でも継続して在宅生活をされていることが理由と考えられる。

延入浴者数（名）・入浴率（％）推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延人数 (名)	453	499	459	491	514	432	467	481	479	436	430	439	5,580
入浴延人数 (名)	288	339	298	323	342	304	333	350	359	318	323	319	3,896
入浴率 (%)	平成30年度	72.8	67.6	68.5	64.4	65.9	62.5	59.8	62.3	64.4	61.9	61.3	63.9
	令和元年度	50.3	67.9	64.9	65.7	66.5	70.3	71.3	72.7	74.7	72.9	75.1	69.8
前年度比 (%)	△22.5	+0.3	△3.6	+1.3	+0.6	+7.8	+11.5	+10.4	+10.3	+11.0	+13.8	+19.0	+5.9

入浴形態別延利用状況（名）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個浴	34	32	32	24	22	23	17	17	4	5	9	5	224
リフト付き浴槽	7	4	2	4	1	0	2	9	7	8	9	8	61

(4) 食事サービス

利用者個々の移行や状態に配慮した食事提供が出来るよう、本人や家族、ケアマネジャーと情報共有を行った。また、継続して食事摂取量・体重の減少が見られた際には、食事形態の変更や提供方法の工夫を行い、身体状態の保持に努めた。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

利用者個々の状態や排泄の間隔に合わせてトイレ誘導やおむつ交換を実施した。排泄介助時には羞恥心や尊厳、プライバシーへの配慮も徹底して行うよう努めた。また、自宅とデイサービス間での排泄状況を互いに共有しケアに活かすことが出来た。

(6) レクリエーション・行事

利用者個々の身体状況に配慮し、みんなで楽しむことが出来るようレクリエーション内容や実施方法を検討し実施した。また、季節感を感じることで出来る外出行事、利用者参加型の創作系のものや、体操と計算を同時に行う脳トレ系レクリエーションを楽しんでいただくことが出来た。

【レクリエーション実施状況（回数）】

飾り作り	40	ボーリング	22	ちょんちょんゲーム	21
言葉あそび	21	俳句	19	言葉探し	17
ピンゴ	16	いつ、どこで、誰が？	15	大人の学校	14
漢字の足し算	12	すごろく	10	替え歌	9
大漁ゲーム	8	魚釣りゲーム	5	イントロクイズ	4
カード作り	4	虫食いクイズ	4	おやつ作り	4
かるた	4	お楽しみ	3	カーネーション作り	3
イラスト伝言ゲーム	3	歌クイズ	2	タオルボール	2
穴埋めゲーム	2	的あてゲーム	2	ストラックアウト	2
文字の組み合わせ	1			計 28 種類	259

【行事実施状況（日数）】

花見ドライブ	8	紅葉ドライブ	5	買い物ドライブ	5
初詣ドライブ	5	夏祭り	2	クリスマス会	2
鬼あてゲーム	2	桜餅作り	2	柏餅作り	2
餅つき	1			計 10 種類	34

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（第一号通所事業）サービス

本人・家族の意向に沿った目標を立て実施した。個別メニューだけではなく、午前・午後集団体操は例年通り実施し、今年度は音楽やなじみの曲に沿って体を動かす体操を実施した。その他、季節を感じる外出行事を提供し、施設内ではできない外出先の環境に合わせた移動訓練を実施することが出来た。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	262	215	265	262	303	264	268	294	303	0	0	0	3,675
運動器機能（名）	76	63	82	70	86	75	78	72	71	0	0	0	673
合計	338	278	347	332	389	339	346	366	374	0	0	0	4,348

(8) 送迎サービス

利用者の状況に合わせた適切な車両選びや、家族の事情、要望などに対応した送迎サービスを提供した。また、安心安全に送迎できるよう、職員間で道路事情の情報共有を密に行った。

【送迎状況】

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え	436	487	448	470	499	421	466	476	475	433	417	435	5,463
(減算)	(13)	(12)	(10)	(18)	(6)	(1)	(2)	(4)	(3)	(1)	(4)	(3)	(77)
送り	446	498	454	486	504	423	467	478	476	434	418	433	5,517
(減算)	(4)	(1)	(5)	(2)	(1)	(0)	(1)	(4)	(5)	(2)	(8)	(4)	(37)
延回数	882	985	902	956	1,003	844	933	954	951	867	835	868	10,980
(減算)	(17)	(13)	(15)	(20)	(7)	(1)	(3)	(8)	(8)	(3)	(12)	(7)	(114)

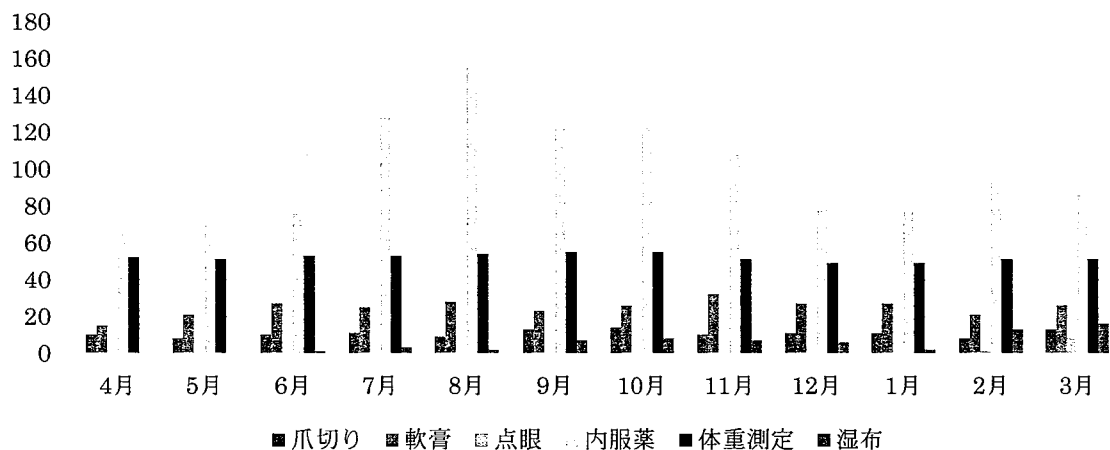
【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	617	612	667	647	636	590	598	699	535	534	450	497	7,082
ランディ	557	522	510	352	0	0	0	0	0	0	0	0	1,941
ステップワゴン	640	500	677	587	592	475	536	691	553	547	501	515	6,814
ヴォクシー	0	0	0	0	0	0	225	561	565	463	410	490	2,714
タント(デイ)	0	0	0	0	0	199	543	698	626	675	819	619	4,179
タント(居)	711	734	747	718	951	821	745	505	497	449	557	421	7,856
タント(特)	839	822	760	607	610	604	650	738	879	689	671	761	8,630
アルトバン	658	570	583	766	286	166	160	136	146	144	122	111	3,848
ハイゼット	305	359	284	275	394	533	451	320	397	343	327	309	4,297
ミラ	139	170	172	167	0	0	0	0	0	0	0	0	648
合計	4,466	4,289	4,400	4,119	3,469	3,388	3,908	4,348	4,198	3,844	3,857	3,723	48,009

(9) 看護報告 (処置集計報告)

利用者一人一人に対して利用時のバイタルチェックの他、その日の体調や家での出来事の聞き取り、表情や仕草など様子観察を行い、体調変化の早期発見に努めた。また、月1回の体重測定により、体重や食事摂取量、内服薬、排泄など多面的に状態の改善に努めた。体調不良時は、家族やケアマネジャーに連絡、報告し連携に努めた。また、利用者・家族の希望により、軟膏や湿布、点眼などの処置を行い、自宅で爪が切れない方の対応も実施した。冬の乾燥する時期は、加湿器や濡れタオルにて加湿し、手洗い、手指消毒、換気を行い感染症予防に努めた。

処置集計 (回)



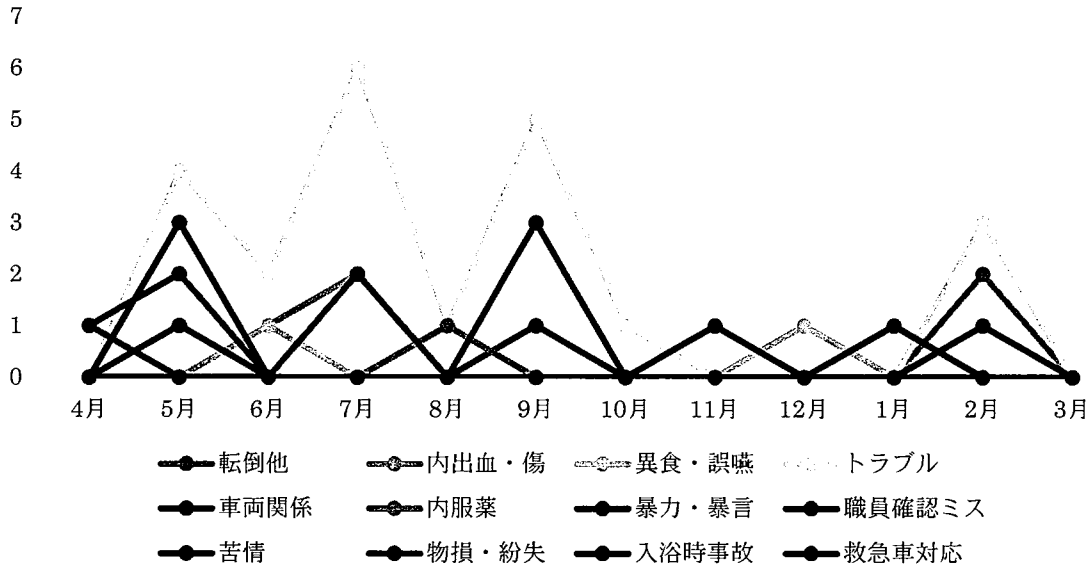
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	3	2	1	2	3	4	3	4	2	1	3	4	32
軟膏塗布	33	42	39	61	46	47	61	74	70	90	98	85	746
点眼	6	7	4	14	13	5	7	4	4	8	11	13	96
内服薬	101	112	81	106	93	89	101	124	139	127	126	143	1,342

体重測定	52	53	54	52	53	52	53	55	56	54	56	56	646
湿布	19	16	6	26	29	40	21	30	26	21	31	30	295
合計	214	232	185	261	237	237	246	291	297	301	325	331	3,157

(10) ヒヤリハット報告

目立ったものとして、利用者間のトラブルでの報告が半数を占めた。お菓子や果物、お金など物のやり取りをしていたという内容であった。対象利用者が利用をキャンセルされ数が減少した。

アクシデント・インシデント・トラブル報告 (回)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
内出血・傷	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
異食・誤嚥	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
トラブル	0	4	2	6	1	5	1	0	0	3	0	0	22
車両関係	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
内服薬	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
利用者の暴力・暴言	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
職員確認ミス	0	1	0	2	0	3	0	0	0	1	0	0	7
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
備品物損	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
入浴時	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	10	4	10	2	9	1	1	2	6	1	0	49

(11) 地域連携・貢献活動（介護予防教室等）

地域の方からの依頼により、中高津公民館で介護予防教室「スクエアステップ」と、飛羽ノ園デイサービスホールでの「笑いヨガ」を開催した。地域の方々と共に学び笑い合う機会を通して、地域に頼られる事業所となれるよう努めた。

(12) 実習生・ボランティア受入

教員や介護福祉士、中学生による職場体験などの実習生と、整容や踊り、バンドなどのボランティアの方々の受入も積極的に行なった。ボランティアに対しても、なじみの曲を通して目を輝かせて体を動かし楽しんで頂くことが出来た。

【実習生・ボランティア受入報告】

種別	学校名	実人数（名）	延日数（日）	ボランティア名	来園回数(回)
教育実習	筑波大学	6	30	こもれびの会	21
	茨城大学	2	10	すずめの子	3
	日本大学	2	10	フェニックス	2
	茨城キリスト教大学	1	5	予科練一座	1
	つくば研究学園専門学校	1	5	水神会	1
介護福祉士	朝日国際専門学校	3	3	鶴田様	1
	アール医療福祉	3	9	喜和会	1
職場体験	市役所	5	5	クーリアイケアケア	1
	土浦第四中学校	3	6	合計	31
合計		26	83		

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	平成 30 年度			令和元年度		
	登録者数（名）	登録者数（名）	登録者数（名）	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）
4月	55	9	1	58	8	4
5月	55	2	0	62	1	1
6月	57	4	2	62	0	1
7月	59	6	1	61	3	2
8月	64	0	7	62	0	2
9月	60	5	2	61	5	0
10月	61	2	4	65	5	2
11月	58	1	1	70	3	7
12月	59	2	4	64	2	2
1月	57	3	8	64	1	2

2月	55	6	2	65	2	1
3月	56	2	1	65	5	5
合計	703	42	33	759	35	29

(2) 介護度別利用者

要介護度	平成30年度 (平成31年3月31日現在)		令和元年度 (令和2年3月31日現在)		前年度比	
	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)
支1	3	5.9	3	5.4	0	△0.5
支2	7	13.7	5	8.9	△2	△4.8
1	19	37.3	25	44.6	+6	+7.3
2	11	21.6	12	21.4	+1	△0.2
3	8	15.7	7	12.5	△1	△3.2
4	1	1.9	2	3.6	+1	+1.7
5	2	3.9	2	3.6	0	△0.3
介護保険外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	51	100	56	100	+5	—

(3) 利用者年齢構成

年齢(歳)	平成30年度(名) (平成31年3月31日現在)		令和元年度(名) (令和1年3月31日現在)		前年度比(名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	1	0	1	0	0	0
65～69	0	0	0	1	0	+1
70～74	1	1	1	1	0	0
75～79	1	1	3	1	+2	0
80～84	4	7	4	10	0	+3
85～89	5	14	9	13	+4	△1
90～	2	20	4	18	+2	△2
男女別合計	14	43	22	44	+8	+1
男女比(%)	24.6	75.4	33.3	66.7	+18.7	△18.7
合計	57		66		9	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（令和2年3月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
小松	9	富士崎町	1	阿見町	1
霞ヶ岡	7	小岩田	1	合計	58
中高津	7	桜町	1		
烏山	6	下高津	1		
港町	4	永国台	1		
上高津	4	滝田	1		
小松ヶ丘	3	天川	1		
千鳥ヶ丘	3	中村南	1		
国分町	2	永国	1		
中	2	大岩田	1		

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	6
二中地区	0
三中地区	3
四中地区	33
五中地区	0
六中地区	15
都和中地区	0
新治中地区	0
市外	1
合計	58

飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

主任介護支援専門員 1 名・介護支援専門員 3 名の体制で運営。事業所内、他部署との連携を大切にし、他居宅事業所との事例検討会（年 2 回）も新たに始めることができた。

2. 居宅介護サービス計画実施状況（要介護度別分類）

<介護プラン>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	101	103	103	104	102	104	108	104	105	107	112	111	1,264
市外	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	102	104	104	105	103	105	109	105	106	108	113	112	1,276

年度当初からの依頼はほぼ横ばいではあったが、寒い時期になってくると利用が増加。また、新型コロナウイルスへの感染が心配でサービスを休止する利用者もいた。年間での新規利用者は 44 件、入退院は 56 件あり、病院側と連携を取り対応した。月平均担当数は 106 件であり、市外 1 件となっている。

<介護予防プラン（包括支援センター委託）>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
うらら	21	21	20	21	22	21	21	20	20	21	18	16	242
かんだつ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

ほぼ安定した件数で経過していたが、寒い時期になると、体調不良での休止や区分変更を行い介護へ移行され、減少傾向となる。月平均 21 件となっている。

<居宅サービス契約者介護度別延べ件数前年度比>

	総合事業	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
H30 年度		124	172	559	334	262	78	48	1,577
R 元年度	8	107	139	595	318	225	101	36	1,529

当事業所は総合事業対象者、要支援 1 から要介護 5 までの利用者を担当。要支援の利用者がやや減少傾向。要介護 1 の利用者が多く、介護度が重くなるにつれ利用者が減少方向。在宅での生活が困難になり、施設への入所が増えるためである。

3. 認定調査

認定調査の実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	6	5	5	8	10	7	3	3	6	15	6	6	80

認定調査に関して担当者のすべてではないが、土浦市から委託が来るケースが多く、担当者が実施した。上記件数以外でも市役所職員による更新や区分変更時の認定調査に立ち会う場合もあった。

4. 研修

土浦ケアマネジャー研究会	
5月	総会・ケアマネジメントの原点 ソーシャルワークの視点から
7月	成年後見センターつちうらについて～生活困窮者に対する社会福祉協議会の支援～
9月	居宅介護支援事業所への実施指導のポイント
11月	土浦市ふれあいネットワークにおけるケアマネジャーの役割と課題
1月	医療・介護連携のための情報交換会
3月	役員会
法人内研修	
5月	介護支援専門員研修：最新のケアマネ事情・グループワーク
7月	権利擁護の理解～高齢者虐待の理解と対応～
10月	ワノバージョン
11月	ハラスメントと人財育成
〃	ワノバージョン2
2月	理学療法士から学ぶ腰痛予防
茨城県ケアマネジャー協会（土浦・かすみがうら地区会）研修	
4月	求められている介護支援専門員の仕事とは？
6月	主任研修 主任更新研修 受講の課題・取り組み方を含む
7月	アドバンス・ケア・プランニングの実践 土浦・かすみがうら地区会総会
10月	医療課題を明確にし方針をもちましよう 医療専門職に何を期待するのか 介護支援専門員は何をすべきか
12月	看取ることのモヤモヤを話し合おう
4中地区地域ケア会議	
12月	基準回数を超えて訪問介護（生活中心型）を位置付けた居宅サービス計画について
合同事例検討会	
10月	ケアリング居宅介護支援センター土浦・訪問看護ステーション土浦合同事例検討会
2月	〃
その他	
1月	在宅医療のはじめ方・すすめ方
〃	認定調査現任研修 ・認定調査のポイント～審査会委員の立場から～ ・認知症の理解を深める
〃	地域包括支援センターかんだつ研修会 ・認知症施策推進大綱と地域における認知症ケアの取り組み ・認知症の方への対応～パーソン・センタード・ケアを中心に～
2月	アドバンス・ケア・プランニング
〃	多職種交流会
〃	ICTツール説明会（電子@連絡帳）

土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（四中地区担当）

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1) 台帳作成	96	(2) 緊急通報	11	(3) 配食サービス	9

合計件数が前年度 109 件より 7 件の増加。緊急通報システムや配食サービスの減少はあったが、今年度は台帳の見直しを重点的に行った。その中で介護保険申請等のサービスへ繋げたケースもあり、定期的な見直しの必要性を感じた。

2. 相談

(方法×統柄集計)

相談区分		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務時間	電話	47	35	10	16	10	4	1	1	124
	来所	2	8	0	0	0	0	0	0	10
	訪問	227	15	3	1	0	0	0	0	246
時間外	電話	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	18	3	1	0	0	0	0	0	22
合 計		296	61	14	17	10	4	1	1	404

前年度の相談数合計 394 件と比較すると 10 件の増加。電話や訪問での相談は増えているが、来所による相談は業務合計数の変化はない。特に家族からの相談は増加傾向にあり、ひとり暮らしや高齢者世帯が増えていることから考えられる。

(相談区分×統柄集計)

	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1) 家族の支援	48	24	4	1	2	0	0	0	79
(2) 介護保険制度	66	14	2	3	1	0	0	0	86
(3) 福祉サービス	123	5	3	7	1	1	0	0	140
(4) 保健・医療	118	26	1	2	2	0	1	0	150
(5) 経済・住まい	23	2	3	1	0	1	1	2	33
(6) 地域の困りごと	18	7	1	2	0	1	0	0	29
(7) その他	108	14	3	7	6	2	1	0	141
(8) 二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9) 虐待・権利擁護	0	2	0	4	0	2	0	0	8
(10) ケアマネジャー支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(11) 認知症関係	23	17	3	4	2	2	0	0	51
合 計	527	111	20	31	14	9	3	2	717

前年度と比較し「(2) 介護保険制度」「(4) 保健・医療」「(7) その他」の増加がみられる。

「(11) 認知症関係」に関しては年々増加傾向にあり今後も見込まれる。

3. 会議出席回数等

件 名	件 数 (回)
(1) ふれあい調整会議	6
(2) スクラムネット	12
(3) その他 (在支連絡調整会議等)	26
合 計	44

ふれあい調整会議・スクラムネットで困難事例のケース検討を行い、様々な職種の方々からの意見を参考にすることで視野の拡大、課題解決のための対応を見つけることができた。

また第 2 層協議体に積極的に参加し地域課題の把握に努めた。民生児童委員定例会に出席し、地域との連携をより図ることができた。

4. その他

- ・高齢者クラブより飛羽ノ園へ介護予防教室の依頼があり開催に協力。スクエアステップの実施をした。また飛羽ノ園主催のふらっと HIWA 地域支え合い勉強会への開催も協力。
- ・会食会型食事サービス事業である、ひとり暮らし高齢者交流会へ参加。認知症予防の体操を実施し、在宅介護支援センターの説明を行った。
- ・台帳作成後、長期間訪問していないケースがあり、見直しによる訪問で現状やニーズの把握・サービスに繋がるケースが多々あった。見直しの重要性を改めて感じた。
- ・独居で地域との関わりが希薄な方への介入が困難だった。特に認知症や精神疾患を合併している方への対応は、家族や関係機関と連携を密にしてアプローチしていく必要があると考えられる。

令和元年度

事業報告書
社会福祉法人 祥風会

特養養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

憩いの里

理事長 羽鳥 圭一
施設長 和田 宏一

〒300-4117 土浦市高岡2315
TEL 029-829-3030
FAX 029-829-3031
URL <http://showfukai.com>
E-Mail ikoinosato@showfukai.com

特別養護老人ホーム憩いの里
介護老人福祉施設・短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

【1】運営(運営方針に対する報告)

1. 介護福祉施設

入居者一人ひとりの個性と生活リズムに合わせて支援出来るユニットケアが出来た。その理由として、入居者と職員のなじみの関係作りや、入居者に合ったケアの方法をユニットごとに、ユニットリーダーが中心となり、毎月のユニット会議で話し合うことが出来たからである。また、入居者が最後まで尊厳のある暮らしが出来るよう個々のニーズや家族の意向を尊重し、引き続き多職種協働で実践していく必要があると感じた。

2. 短期入居・介護予防短期入居生活介護

稼働率は昨年よりも6.9%増加している。定期利用者に比べ長期利用者の割合が多く新規の利用者の依頼を受けても利用出来ない場面が何度か有り、定期と長期利用者のバランスの見直しが必要と感じた。今後は、新規利用者の開拓の為、居宅事業所との連絡を密にとり、憩いの里のショートステイを使ってよかったと言ってもらえるような施設作りを行っていく。

○重点目標：個人の尊厳に配慮した上質なサービスを提供する

全職員共通認識として、外部の講師を招いての勉強会を開くことで権利擁護や身体拘束についての意識を深めることが出来た。また、身体拘束ゼロに向けて、定期的な委員会の中で多職種を交えて話し合いをすることが出来た。

○重点目標：ユニット間の協力体制強化と職員教育体制の整備

ユニット間の協力体制の整備や異動により協力体制がさらに強くなったと感じられた。他ユニットにヘルプに出向くことで、職員間のコミュニケーションや自分の担当ユニット以外の入居者の介護をすることにより介護力のアップに繋がったと感じた。次年度において、職員の定着率アップに向け、主任や職場定着委員会が主体となり現場での課題に対し、業務改善や職場環境の改善を図り、結果、離職率の低下に繋がるようにしていく必要があると感じた。

3. 稼働率報告

種 別	ユニット		ショートステイ	
	平成 30 年度	令和元年度	平成 30 年度	令和元年度
年間ベッド数 (最大)	25,550	25,620	3,650	3,660
延べ人数	25,341	25,284	2,760	3,020
稼働率 (%)	99.2	98.6	75.6	82.5

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1.入居者推移・実数

（1）入居者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
入居	4	0	2	2	0	2	2	0	5	1	2	0	20	24
退居	2	1	1	2	1	2	1	1	4	1	2	0	18	26

（2）入居・退居経路

入居経路		退居経路	
居宅（小規模多機能含む）	15	永眠（看取り）	13
病院	1	永眠（入院中）	2
老健	3	病院	2
特養	1	居宅	1
合計	20	合計	18
前年度計	24	前年度計	26

（3）要介護度別 ※令和2年3月31日現在

要介護度	性別		人数計（名）	前年度比（名）
	男性	女性		
1	1	0	1	—
2	1	7	8	△1
3	9	17	26	—
4	7	14	21	1
5	3	10	13	△2
合計	21	48	69	△2
平均要介護度	3.5	3.6	—	—

（4）年齢構成 ※令和2年3月31日現在

年齢（歳）		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
特養（名）	男性	0	2	0	3	4	6	6	21
	女性	0	0	0	1	5	12	31	49
合計		0	2	0	4	9	18	37	70
前年度		0	2	1	3	9	16	37	68

(5) 入居者要介護度別利用状況

①特養

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	0	9	24	29	10	72
	延人数	0	226	702	837	271	2,036
5	実人数	0	9	24	28	9	70
	延人数	0	264	733	860	279	2,136
6	実人数	0	9	24	28	9	70
	延人数	0	268	717	796	270	2,051
7	実人数	0	9	26	27	10	72
	延人数	0	279	776	809	280	2,144
8	実人数	0	9	24	28	9	70
	延人数	0	279	744	861	279	2,163
9	実人数	0	9	25	27	9	70
	延人数	0	270	749	783	270	2,072
10	実人数	1	9	23	27	11	71
	延人数	11	279	713	814	333	2,150
11	実人数	1	9	23	27	10	70
	延人数	30	270	690	792	300	2,082
12	実人数	1	8	28	27	10	74
	延人数	31	248	769	766	310	2,124
1	実人数	1	8	27	23	12	71
	延人数	31	248	827	699	349	2,154
2	実人数	1	8	28	22	13	72
	延人数	29	232	785	613	343	2,002
3	実人数	1	8	25	21	13	68
	延人数	31	248	775	651	403	2,108
R1 年度	実人数	6	104	301	314	125	850
	延人数	163	3,111	8,980	9,281	3,687	25,222
H30 年度	実人数	0	106	288	348	118	860
	延人数	0	3,149	8,590	10,195	3,407	25,341

今年度は、前年度に比べ 12 件入退所が少ない一年だったが、空床期間が前年度に比べ多くなってしまった。入所前の実態調査や施設側との連絡調整を事前に段取りスムーズな入所に繋げていく必要があると感じた。

(6) 短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4	実人数	0	0	4	8	4	3	1	20
	延人数	0	0	41	96	62	29	15	243
5	実人数	0	0	5	5	4	3	1	18
	延人数	0	0	53	70	82	34	15	254
6	実人数	0	0	3	4	5	3	1	16
	延人数	0	0	37	66	86	12	14	215
7	実人数	0	0	4	7	4	5	1	21
	延人数	0	0	11	100	94	24	14	243
8	実人数	0	0	1	10	3	4	1	19
	延人数	0	0	7	125	91	59	13	295
9	実人数	0	0	2	8	4	5	2	21
	延人数	0	0	18	106	63	51	35	273
10	実人数	0	0	2	8	5	4	2	21
	延人数	0	0	24	105	104	44	11	288
11	実人数	0	0	1	11	4	4	0	20
	延人数	0	0	3	109	96	43	0	251
12	実人数	0	0	1	10	6	3	0	20
	延人数	0	0	4	107	84	25	0	220
1	実人数	0	0	1	10	4	3	1	19
	延人数	0	0	4	111	95	16	3	229
2	実人数	0	0	0	11	5	1	0	17
	延人数	0	0	0	112	126	4	0	242
3	実人数	0	0	0	9	5	3	0	17
	延人数	0	0	0	114	121	23	0	258
R1 年度	実人数	0	0	24	101	53	41	10	229
	延人数	0	0	202	1,221	1,104	364	120	3,011
H30 年度	実人数	0	0	23	74	57	65	9	228
	延人数	0	0	146	556	851	1,066	141	2,760

平均稼働率 82.4%と前年度を 6.9%上回る結果となった。定期利用者に比べると長期利用者の割合が多く、新規の定期利用者の受け入れが出来ない場面があった。次年度に向けて、長期利用者と定期利用者のバランスを見直し、新規利用者の受け入れが出来るような体制作りをしていく必要があると感じた。

2. 医務

(1) MMSE 実施状況

※30点満点中23点以下は認知症の可能性が高いとされている(診断結果は参考)

年齢(歳)	性別	点 数							合計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	1	0	1	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	0	1	0	1	0	1	0	3
	女	0	0	0	0	0	1	0	1
80~84	男	0	0	1	0	2	0	0	3
	女	0	0	1	0	2	2	1	6
85~89	男	0	0	1	3	1	0	1	6
	女	3	2	2	3	1	0	1	12
90~94	男	0	2	0	0	1	0	1	4
	女	3	3	1	4	6	2	0	19
95~	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	1	2	2	0	3	1	2	11
合計		7	10	9	12	17	7	6	68

(2) 日常生活状況(ADLの状況) ※平成31年3月31日現在

①あじさい

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	8	2	0	8	1	1	2	6	2	6	2	2
前年度	8	0	0	0	7	1	0	5	3	0	5	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	8	1	1	10	0	0	3	4	0	1	1	1
前年度	0	5	3	6	2	0	3	1	0	0	4	0

②りんどう

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	7	2	1	4	3	3	0	7	3	4	3	3
前年度	7	2	1	3	4	3	0	7	3	3	4	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	2	3	3	6	0	4	2	0	0	3	1	4
前年度	1	2	3	6	1	3	2	0	0	3	1	4

③つつじ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	7	1	2	1	3	6	0	2	8	0	6	4
前年度	4	4	2	2	2	6	0	2	8	1	4	5
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	3	3	4	4	2	4	0	1	0	6	1	2
前年度	2	2	6	2	1	6	0	0	0	4	1	5

④カンナ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	8	1	1	4	3	3	2	5	3	3	4	3
前年度	7	2	1	4	5	1	2	6	2	4	5	1
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	6	2	2	8	0	2	2	3	0	2	1	2
前年度	5	2	3	5	4	1	4	1	0	3	0	2

⑤ひまわり

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	8	1	1	4	0	5	1	4	5	1	4	5
前年度	5	2	2	2	5	2	1	5	3	1	5	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	3	3	2	6	0	4	1	1	0	6	0	2
前年度	4	2	3	5	0	4	1	1	0	2	2	3

⑥ばら

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	3	3	4	2	4	4	0	6	4	1	2	7
前年度	4	5	1	2	6	2	0	8	2	1	7	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	2	3	5	2	4	4	0	1	0	1	3	5
前年度	2	6	2	2	6	2	0	1	0	2	4	3

⑦すいせん

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	8	1	1	2	4	4	0	6	4	0	6	4
前年度	5	2	3	1	5	4	0	5	5	0	5	5
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		

	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	2	5	3	5	2	3	1	0	0	2	6	2
前年度	1	5	5	5	2	3	1	0	0	0	6	3

⑧コスモス

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	7	1	2	0	5	5	0	4	6	0	4	6
前年度	7	1	2	1	5	4	0	7	3	0	7	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	0	5	6	4	2	4	1	0	0	2	2	5
前年度	1	5	4	6	2	2	1	1	0	3	2	3

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	24	24	24	24	24	24	25	24	22	22	21	21	279
処置	168	171	116	166	173	150	168	146	132	120	101	86	1,697
軟膏・湿布	39	38	37	36	35	35	36	35	34	35	37	37	434
テープ	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	54
救急対応	0	2	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	8
看取り	2	1	1	1	1	0	0	1	3	1	2	0	13

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	リウマチ	総合診	合 計
延人数	10	486	22	29	5	1	1,064
受診科名	外科	循環器	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	消化器	
延人数	0	2	497	3	1	8	

(5) 入浴実施状況

①あじさい

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	75	82	63	74	84	66	88	88	73	67	74	81	915
特浴	18	20	16	23	28	28	12	8	8	8	12	14	195
清拭	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	2	0	5
合 計	93	102	79	97	113	94	101	96	81	76	88	95	1,115

②りんどう

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	59	63	59	60	60	58	63	58	65	70	58	63	736
特浴	23	26	23	28	27	25	27	26	25	25	24	27	306
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合 計	82	89	82	88	88	83	90	84	90	75	78	90	1,042

③つつじ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	45	54	48	53	46	45	60	52	57	64	55	64	643
特浴	34	36	36	32	34	33	36	32	29	19	21	25	367
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	79	90	84	85	80	78	96	84	86	83	76	89	1,010

④カンナ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	75	74	68	80	79	76	85	77	76	77	78	76	921
特浴	18	16	14	9	9	9	8	8	9	9	8	9	126
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	93	90	82	89	88	85	93	85	85	86	86	85	1,047

⑤ひまわり

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	55	62	65	69	81	78	76	71	70	59	47	52	785
特浴	16	16	11	9	9	8	8	9	17	22	27	34	186
清拭	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
合 計	87	89	92	92	95	91	87	90	94	62	87	92	974

⑥ばら

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	67	69	72	51	53	50	50	52	52	54	55	61	686
特浴	17	17	17	33	34	33	32	33	34	33	26	25	334
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	84	86	89	84	87	83	82	85	87	87	81	86	1,020

⑦すいせん

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	56	53	45	48	63	56	48	42	60	56	55	63	645
特浴	26	26	27	27	24	27	24	28	29	24	24	27	313
清拭	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	1	0	9
合 計	82	79	72	75	87	83	66	73	94	80	80	90	967

⑧コスモス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	46	44	33	33	34	29	29	26	34	33	31	32	404
特浴	39	37	41	54	54	46	52	58	52	50	48	50	581
清拭	0	3	3	3	0	0	0	1	1	0	0	1	12
合 計	85	84	77	90	88	75	81	85	87	83	79	83	997

ユニット間の協力を密にすることにより、個浴の人数調整や個浴を行っている際の見守りなど、ユニットを超えた協力が出来た。

(3. 給食)

(1) 平成 31 年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	g
目標値	1,585	59.4	38.8	593	9.0	580	0.85	0.95	85	7.2
4月	1,585	59.8	39.5	510	8.5	493	0.8	0.79	86	8.1
5月	1,582	59.6	38.6	516	8.4	481	0.81	0.79	86	7.9
6月	1,585	58.2	39.4	549	9.0	479	0.82	0.76	89	8.0
7月	1,596	59.1	39.8	547	8.5	516	0.83	0.8	89	8.0
8月	1,615	60.0	41.8	541	8.1	500	0.8	0.79	87	7.6
9月	1,614	60.1	42.2	555	8.7	540	0.8	0.8	81	7.7
10月	1,603	59.4	41.9	560	9.3	569	0.8	0.79	79	7.7
11月	1,632	60.0	41.6	586	8.6	536	0.82	0.79	91	7.9
12月	1,620	61.6	42.8	587	9.1	518	0.82	0.8	86	7.8
1月	1,601	60.4	40.8	580	8.7	544	0.81	0.8	81	8.0
2月	1,606	60.9	41.8	613	7.8	560	0.8	0.81	80	8.1
3月	1,592	58.4	40.9	556	8.2	559	0.83	0.76	86	8.1

(2) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	24,858	25,038	25,192	75,088
ショートステイ	2,692	2,896	2,713	8,301
デイサービス	0	6,108	0	6,108
職員	0	4,463	0	4,463
来客	0	38	0	38
実習生	0	23	0	23
延人数	27,550	38,566	27,905	94,021

②選択食

日時	A	B
実施なし		

③行事食

1	日時	4月5日	行事名	お花見弁当
	山菜ごはん、清汁、鰯の照り焼き、エビフライ、鶏の唐揚げ、春野菜の炊き合わせ、香物、フルーツ(オレンジ、キウイフルーツ)			
2	日時	5月4日	行事名	端午の節句
	稲荷寿司、清汁、天麩羅、ピーチムース、鯉のぼり饅頭			
3	日時	5月14日、15日、16日	行事名	新茶イベント
	新茶、水羊羹			
4	日時	7月7日	行事名	七夕
	七夕ちらし、清汁、天麩羅、すいか、七夕ゼリー			
5	日時	7月27日	行事名	土用の丑の日

	うな丼、清汁、香味奴、ブルーベリーヨーグルト			
6	日 時	7月7日	行事名	七夕
	七夕そうめん、天麩羅、ナスのしょうが醤油和え、すいか、七夕ゼリー			
7	日 時	7月28日	行事名	納涼祭
	焼きそば、焼き鳥、アイスクリーム			
8	日 時	8月6日、7日、8日	行事名	アイスイベント
	アイスクリーム(イチゴソースまたはチョコソース)			
9	日 時	8月13日	行事名	お盆
	赤飯、清汁、白身魚の磯焼き、ピーマン炒め、ブルーベリーヨーグルト			
10	日 時	9月9日	行事名	敬老会
	赤飯、清汁、天麩羅、鶏の照り焼き、刺身、炊き合わせ、五色なます、練乳あずきプリン、紅白饅頭			
11	日 時	10月16日	行事名	秋の味覚
	栗ご飯、清汁、秋刀魚の塩焼き、小松菜の和え物、ブルーベリーヨーグルト			
12	日 時	11月20日21日22日	行事名	焼き芋イベント
	焼き芋			
13	日 時	12月8日	行事名	クリスマス会
	ローストチキンのオードブル、ショートケーキ			
14	日 時	12月9日	行事名	クリスマス
	サフランライス、コンソメスープ、鮭のパン粉焼き、ポテトサラダ、フルーツ、チョコレートババロア			
15	日 時	12月31日	行事名	年越しそば
	年越しそば、エビの天麩羅、小松菜の和え物、フルーツ			
16	日 時	1月1日	行事名	元旦
	赤飯、清汁、ぶりの照り焼き、おせち盛り合わせ、みかん、ロールケーキ2種			
17	日 時	1月2日	行事名	正月
	海鮮ちらし、味噌汁、筑前煮、アップルムース、紅まんじゅう			
18	日 時	1月3日	行事名	正月
	稲荷寿司、清汁、天麩羅、小松菜のゆず和え、フルーツ、芋ぜんざい			
19	日 時	2月3日	行事名	節分
	五目ちらし、鬼除け汁、鰯の蒲焼き、小松菜とあさりの煮浸し、みかん			
20	日 時	2月11日	行事名	握り寿司イベント
	握り寿司、清汁、天麩羅、茶碗蒸し			
21	日 時	2月14日	行事名	バレンタイン
	チョコレートプリン			
22	日 時	3月3日	行事名	ひな祭り
	鮭ちらし、あさり汁、厚揚げの野菜あんかけ、ピーチムース ひな饅頭			

(3) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	9	14	20	12	6	8	9	15	23	11	7	9	143

《考察》

個々の状態に合わせた食事提供をし、適切な栄養管理を行うことができた。行事食が少なかったため、次年度は回数を増やし、楽しんでいただけるような食事を提供していきたい。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居(名)	9	14	20	12	6	8	9	15	23	11	7	9	143
SS(名)	19	13	12	12	23	19	20	17	15	14	17	17	198

※開催合計 277 回

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	2	6	4	1	3	4	4	4	1	8	3	4	44

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

①委員会

1	褥瘡予防委員会	看護師を中心に定期的に委員会を開くことが出来た。他職種交えて話し合いをすることで褥瘡予防の知識を共有し、日ごろのケアに活かすことが出来た。
2	身体拘束廃止委員会	会議を定期的に行うことが出来た。また身体拘束ゼロに向け来年度も継続して行っていくよう努める。
3	衛生委員会	ストレスチェック・腰痛検査は例年通り実施できた。また、負担の少ない介助方法等についても随時検討し対応することができた。今後はより安全に働ける環境作りを目指し、安全性という視点から環境の見直しを行っていきたい。
4	感染予防委員会	今年度も感染症の蔓延を防ぐことが出来た。また、ノロウイルスの勉強会を医務室で全職員対象に行った。その中で実践形式で行うことにより、いざというときに自分がどう対処すべきかを学べた。
5	入所検討委員会	入居申込者について公平に検討することができた。次年度も定期的な開催を行っていく。また、必要時には臨時の入所検討委員会の開催を行っていく。
6	災害安全委員会	定期的な避難訓練を行うことが出来た。今年度は消防署に協力を依頼し、職員対象に煙体験出来た。来年度は、警察署に協力をお願いし防犯対策を行う予定。
7	安全管理委員会	毎月のユニット会議を行うなかでユニット職員同士が情報や課題の共有することが出来た。ユニット内で解決出来ない問題に関してリーダー会議で解決に向けた話し合いをすることが出来た。
8	物品購入委員会	GW や年末年始など、まとめて物品を発注する際に多く頼みすぎてしまい、物品が余ってしまうことがあった。来年度は在庫の管理を徹底し、過剰な発注をしないよう努めたい。
9	給食委員会	毎月の会議で厨房と意見交換ができた。今年度はデイサービスの職員も会

	議に参加することにより、より具体的な話し合いが出来た。
--	-----------------------------

(2) 全体行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
7	29	納涼祭	80	37	56	173
9	9	敬老祝賀会	74	32	48	154
10	3	日帰り旅行	12	16	0	28
12	8	クリスマス会	78	28	59	165
1	3	正月式	73	18	0	91

(3) ユニット行事

①あじさい

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月2日	花見ドライブ	藤沢方面	4	2	0	6
4月3日	外食・買い物	土浦イオン	4	5	0	9
4月7日	お花見	高岡保育園	1	1	0	2
5月15日	火災想定訓練	地域交流スペース	8	1	0	9
5月15日	新茶イベント	あじさいユニット	7	1	0	8
6月21日	かわじ出前食	あじさいユニット	6	2	0	8
7月7日	七夕	あじさいユニット	6	3	0	9
7月17日	夜間想定避難訓練	カンナユニット	4	3	0	7
7月28日	納涼祭	地域交流スペース	6	3	0	9
8月16日	マジックショー	地域交流スペース	3	1	0	4
10月20日	しおりカフェ	あじさいユニット	7	2	0	9
10月21日	かわじ出前食	あじさいユニット	10	2	0	12
12月9日	クリスマス会	地域交流スペース	6	3	1	10
12月29日	お茶会しおりカフェ	あじさいユニット	5	2	0	7
1月3日	正月式	地域交流スペース	8	2	1	11
2月16日	しおりカフェ	あじさいユニット	7	4	0	11
3月13日	誕生日会 (カード作成)	あじさいユニット	8	2	0	10

②りんどう

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月24日	JA そば外食会	新治 JA	4	4	0	5
5月16日	母の日会	りんどう	10	2	0	12
6月16日	父の日会	りんどう	10	3	3	16
7月21日	川路出前食	りんどう	10	3	0	13
7月28日	納涼祭	地域交流スペース	10	5	20	35
8月7日	花火	正面玄関	10	6	0	16
8月16日	マジック&オカリナショー	地域交流スペース	3	1	0	4
9月8日	敬老会	地域交流スペース	10	3	0	13
9月25日	誕生日会	りんどう	10	2	0	12

10月11日	誕生会	りんどう	10	5	0	15
11月24日	誕生会	りんどう	9	3	0	12
12月8日	クリスマス会	地域交流スペース	10	3	7	20
12月20日	誕生会	りんどう	10	3	7	20
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	2	0	12
1月29日	誕生会	りんどう	10	3	0	13
3月18日	誕生会	りんどう	10	2	0	12

③つつじ

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月14日	明石焼き	つつじユニット	8	5	0	13
5月26日	どら焼き	つつじユニット	10	3	0	13
7月13日	誕生会	つつじユニット	10	3	0	13
7月28日	納涼祭	地域交流スペース	10	4	0	14
9月24日	出前食	つつじユニット	10	3	0	13
11月10日	誕生会	つつじユニット	10	3	0	13
11月25日	おやつ作り	つつじユニット	10	3	0	13
11月30日	いなり寿司・天ぷら	つつじユニット	10	3	0	13
12月8日	クリスマス会	カンナユニット	10	4	0	14
12月17日	誕生会	つつじユニット	9	2	0	11
12月24日	海鮮丼	つつじユニット	10	4	0	14
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	3	0	13
1月24日	誕生会	つつじユニット	10	2	0	12
2月1日	誕生会	つつじユニット	10	2	0	12
3月23日	誕生会	つつじユニット	10	2	0	12
4月14日	明石焼き	つつじユニット	8	5	0	13
5月26日	どら焼き	つつじユニット	10	3	0	13
7月13日	誕生会	つつじユニット	10	3	0	13

④カンナ

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
5月14日	外食ドライブ	土浦イオン	4	4	0	8
5月13日	母の日会	カンナユニット	10	3	0	13
7月28日	納涼祭	地域交流スペース	10	4	0	14
9月8日	敬老祝賀会	地域交流スペース	10	4	0	14
9月22日	誕生会	カンナユニット	10	2	0	12
10月29日	誕生会	カンナユニット	10	2	0	12
11月6日	日帰り旅行	浅草	3	2	0	5
11月23日	パンケーキ作り	カンナユニット	10	3	0	13
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	2	0	12

⑤ひまわり

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月9日	お花見	高岡幼稚園	5	2	0	7
4月19日	おやつ作り	ひまわりユニット	9	2	0	11
5月14日	新茶イベント	ひまわりユニット	10	2	0	12
5月14日	母の日会	ひまわりユニット	10	2	0	12
5月15日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	1	14
6月25日	合同誕生会	ひまわりユニット	10	4	0	14
7月7日	しおりカフェ	ひまわりユニット	10	2	0	12
7月17日	スイカ割り	ひまわりユニット	10	3	0	13
7月28日	納涼祭	デイサービス	9	3	0	12
8月21日	おやつ作り	ひまわりユニット	10	3	0	13
9月18日	誕生会	ひまわりユニット	10	2	0	12
10月4日	出前食	ひまわりユニット	10	3	0	13
10月13日	しおりカフェ	ひまわりユニット	10	2	0	12
11月6日	日帰り旅行	浅草	1	1	0	2
11月29日	誕生会	ひまわりユニット	10	2	0	12
12月8日	クリスマス会	陽だまりサロン	10	3	0	13
12月15日	しおりカフェ	ひまわりユニット	10	2	00	12
12月18日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	0	13
1月3日	正月式	デイサービス	10	2	0	12
1月24日	新年会	ひまわりユニット	10	2	0	12
2月4日	バレンタインデー	ひまわりユニット	10	2	0	12
3月17日	ひな祭り兼誕生会	ひまわりユニット	10	2	0	12
10月13日	しおりカフェ	ひまわりユニット	10	2	0	12

⑥ばら

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月6日	花見ドライブ	土浦周辺	8	3	0	11
5月12日	河角様誕生会	ばらユニット	9	2	0	11
6月25日	ひまわり・ばら合同誕生会	ひまわりユニット	20	4	0	24
7月22日	居酒屋	ばらユニット	10	2	0	12
7月28日	納涼祭	地域交流スペース	10	3	8	21
8月25日	誕生会	ばらユニット	10	3	0	13
9月8日	敬老祝賀会	地域交流スペース	10	4	8	22
10月24日	誕生会	ばらユニット	10	3	0	13
11月6日	日帰り旅行	浅草	2	2	0	4
12月8日	クリスマス会	ひだまりサロン	9	3	7	19
12月18日	忘年会	ばらユニット	10	4	0	14
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	3	0	13
1月23日	手巻き寿司	ばらユニット	10	3	0	13
2月16日	誕生会	ばらユニット	10	3	0	13
3月13日	誕生会	ばらユニット	10	3	0	13

⑦すいせん

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月17日	花見ドライブ	市内	4	2	0	6
5月14日	新茶イベント	すいせん	10	2	0	12
5月15日	母の日会	すいせん	10	2	0	12
6月19日	スイーツバイキング	ひだまりサロン	10	2	0	12
7月2日	しおりカフェ	すいせん	10	2	0	12
7月28日	納涼祭	地域交流スペース	10	1	0	11
8月21日	スイカ割り	すいせん	10	2	0	12
9月8日	敬老会	地域交流スペース	10	1	0	11
9月17日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
9月17日	誕生会	すいせんユニット	10	2	8	20
10月6日	日帰り旅行	東京	2	2	0	4
10月15日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
10月21日	誕生会	土浦イオン	3	3	0	6
11月19日	スイートポテト作り	すいせんユニット	10	2	0	12
12月8日	クリスマス会	コスモスユニット	10	3	8	21
1月18日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
12月8日	クリスマス会	すいせんユニット	10	3	0	13
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	2	0	12
1月17日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
2月15日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
3月26日	誕生会	すいせんユニット	10	3	0	13
9月17日	誕生会	すいせんユニット	10	2	8	20

⑧コスモス

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月3日	花見	高岡保育員	7	3	0	10
4月14日	しおりカフェ	コスモスユニット	10	2	0	12
4月24日	誕生会	コスモスユニット	10	3	0	13
5月9日	誕生会	コスモスユニット	10	2	0	12
5月14日	新茶会	コスモスユニット	10	3	0	13
5月18日	母の日会	コスモスユニット	10	2	0	12
6月12日	誕生会	コスモスユニット	10	3	0	13
6月23日	しおりカフェ	コスモスユニット	10	2	0	12
7月28日	納涼祭	地域交流スペース	10	4	4	18
8月20日	誕生会	コスモスユニット	10	2	0	12
8月25日	スイカ割り	コスモスユニット	10	3	0	13
9月8日	敬老祝賀会	地域交流スペース	10	4	6	20
9月25日	おやつ作り	コスモスユニット	10	2	0	12
10月23日	おやつ作り	コスモスユニット	10	3	0	3
11月6日	日帰り旅行	東京	2	1	0	3

11月20日	おやつ作り	コスモスユニット	10	2	0	12
12月8日	クリスマス会	コスモスユニット	10	3	5	18
12月21日	忘年会	コスモスユニット	10	2	0	12
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	3	0	13
1月22日	新年会	コスモスユニット	10	3	0	13
2月21日	おやつ作り	コスモスユニット	10	2	0	12
3月26日	おやつ作り	コスモスユニット	10	2	0	12
3月24日	おやつ作り	コスモスユニット	10	3	0	13

6. 研修

(1) 内部研修報告

施設全体研修 19:00～19:30

実施日	内容(対象者)	参加人数(名)
4月2日	平成31年度事業計画書(全職員)	46
5月1日	オムツ説明会	27
6月1日	食中毒(全職員)	46
7月2日	外部講師(権利擁護)	45
8月1日	身体拘束について	43
9月3日	高齢者の緊急時の対応	45
10月1日	感染予防について	42
11月1日	認知症ケアについて	50
12月3日	外部講師を招いての勉強会	42
1月7日	褥瘡予防について	48
2月1日	看取り介護について	46
3月1日	今年度の反省と次年度の課題	43
合計		540

(2) 外部機関研修

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数
茨城県合同入職式	5月31日	介護職	介護ラボ 中浜氏による講演	2
ユニットリーダー研修	5月7～9日	介護職	ユニットリーダーの役割について	1
ユニットリーダー実地研修	5月28～31日	介護職	モデル施設の視察	1
社会福祉士全国大会	6月1～2日	管理職	これからの社会福祉士への期待	1
倫理的思考習得研修	6月26日	介護職	倫理的思考について	2
甲種防火管理者講習会	8月1～2日	介護職	防火管理の意義と制度	1
管理栄養士新任研修	8月23日	管理栄養士	栄養士の専門職としての職業倫理について	1
喀痰吸引研修	9月11日	介護職	喀痰吸引・経管栄養研修について	1
給食研究会6ブロック合同研修会	10月17日	管理栄養士	ニュークックチルシステムについて	1
全国老人福祉施設大会	11月20～21日	管理職	将来に向けた介護基盤整備について	1

喀痰吸引研修	12月3日	介護職	喀痰吸引研修	2
栄養士会福祉専門研究会	12月7日	管理栄養士	褥瘡の定義について	1
茨城栄養学術講習会	12月17日	管理栄養士	生活習慣病について	1
合 計				16

今年度は、研修の参加が前年度に比べ、半分以下になってしまった。職員の人数の兼ね合いもあるがより多くの研修に参加出来るよう努めたい。また事前に職員からどのような研修に参加したいかアンケートを取り、自分の希望する研修に参加することでスキルアップに繋げていく。

7. 実習生受入れ

(1) 学校別集計（デイサービスを含む）

学 校 名	実習月	日数	人数	延日数
アール医療福祉専門学校	10月	4	9	8
祥風会	7月（見学のみのみ）	1	3	3
合 計		5	12	11

(2) 実習種類別集計（デイサービス含まず）

①介護職員初任者研修

受け入れ期間	実人数	延日数
7月～9月	3	3

感染症対策もあり、下半期の受け入れが難しかったので上半期の受け入れを増やすなどの工夫が必要だった。

8. ボランティアの受け入れ

(1) 介護相談員活動実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	20

(2) ボランティア受入

ボランティア名	回数	総人数	ボランティア名	回数	総人数
日本舞踊	1	2	落語	1	1
繕い物	5	32	社交ダンス	1	2
踊り（納涼祭）	1	7	フランスベッド（納涼祭）	1	2
茨城リネンサプライ（納涼祭）	1	2	合 計	11	48

デイサービス憩いの里
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 30 名)

1. 運営

今年度は集団だけでなく小グループを作り、階段昇降や平行棒を活用してのリハビリなどのサービスを心掛けた。職員と利用者との日頃のコミュニケーションから利用者の意欲を引き出し、その意欲を活動に結び付けられるような環境を提供することで、利用者一人ひとりが充実したデイサービスでの日々を送ることが出来るよう努めた。

年明けから国内での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、利用を自粛される利用者が10名以上いた。デイサービスとしては手洗い・消毒・マスクの着用などの徹底で感染予防対策を構じ、新規利用も含め、受け入れを行った。

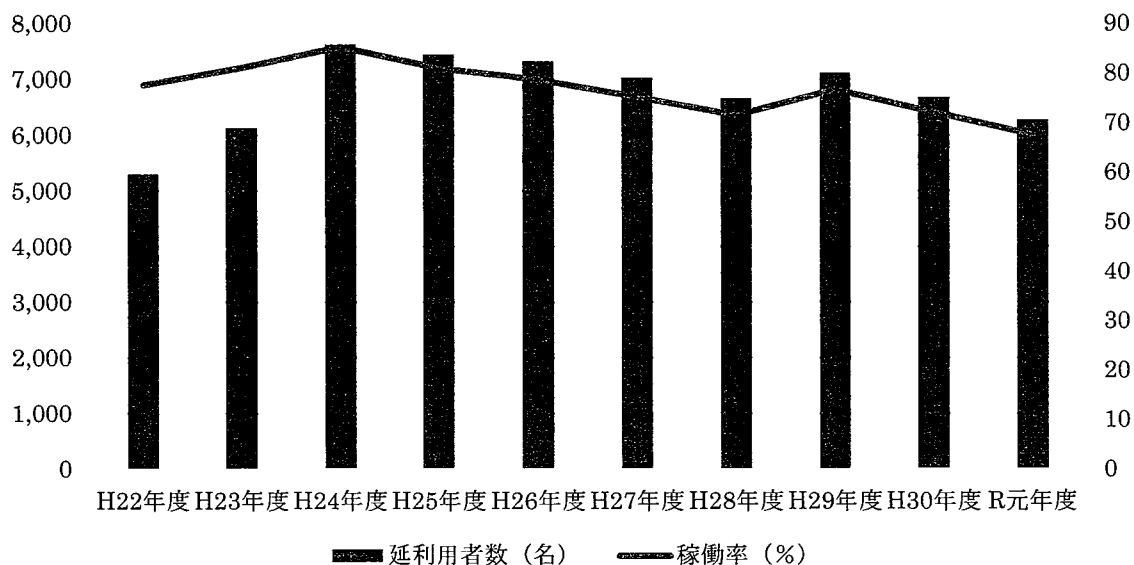
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(日)		26	27	25	27	27	25	26	26	25	24	25	26	309
実人数(名)		55	56	56	55	56	56	55	54	56	61	58	56	674
延人数(名)		506	576	538	546	565	518	533	514	496	485	495	493	6,265
平成 30年度	平均利用者数(名)	23.7	23.6	23.1	22.6	20.5	21.8	21.2	21.7	21.9	20.0	20.0	19.5	21.6
	稼働率(%)	79.0	78.7	77.0	75.3	68.3	72.7	70.7	72.3	73.0	66.7	66.7	65.0	72.1
令和 元年度	平均利用者数(名)	19.5	21.3	21.5	20.2	20.9	20.7	20.5	19.8	19.8	20.2	19.8	19.0	20.3
	稼働率(%)	64.9	71.1	71.7	67.4	69.8	69.1	68.3	65.9	66.1	67.4	66.0	63.2	67.6
稼働率(%) 前年度比		△14.1	△7.6	△5.3	△7.9	1.5	△3.6	△2.4	△6.4	△6.9	0.7	△0.7	△1.8	△4.5

(2) 年間利用状況の推移

延利用者数（名）・稼働率（％）



	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延利用者数(名)	5,296	6,123	7,616	7,438	7,316
稼働率 (%)	77.6	81.1	85.3	81.0	78.7
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延利用者数(名)	7,016	6,649	7,112	6,669	6,265
稼働率 (%)	75.2	71.5	76.7	72.1	67.6

(3) 介護度別利用状況

要介護度	平成 30 年度		令和元年度		前年度比	
	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)
事業対象者	9	0.1	0	0.0	△9	△0.1
支 1	163	2.4	114	1.8	△49	△0.6
支 2	267	4.0	281	4.5	14	0.5
1	1,827	27.4	1,154	18.4	△673	△9
2	2,978	44.7	3,070	49.0	92	4.3
3	788	11.8	794	12.7	6	0.9
4	482	7.3	699	11.2	217	3.9
5	155	2.3	153	2.4	△2	0.1
介護保険外	0	0.0	0	0.0	-	-
計	6,669	100	6,265	100	△404	-

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

利用者・家族・ケアマネジャーからの要望はもちろんのこと指摘のあったことを活かして細部まで対応することが出来た。

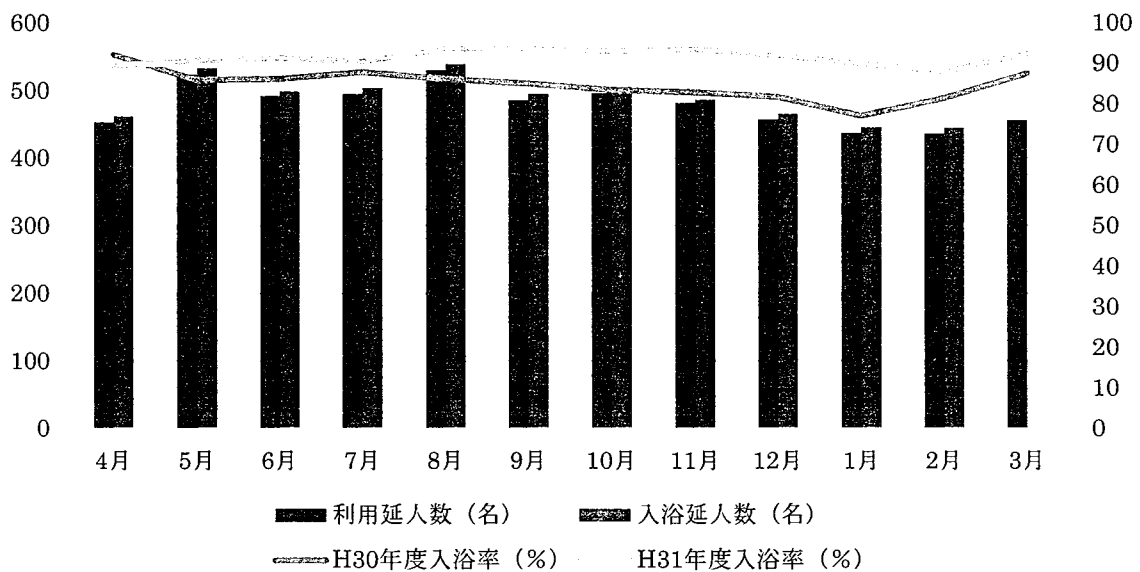
(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者が在宅で生活を行っていく為に必要な支援内容を記載し、定期的な見直しを行った。また、利用目的と支援内容を明確化した。そして利用者の状態変化があった際にも見直しを行うよう努めた。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

利用者のプライバシーを守りながら清潔保持と心身のリフレッシュの為、安心安全を心掛け、一人一人にあった入浴サービスを提供できた。また、身体の異変や皮膚疾患のある方の観察等も注意して行い、より良い日常生活が送れるよう支援できた。

延入浴者数（名）・入浴率（％）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数 (名)	506	576	538	546	565	518	533	514	496	485	495	493	6,265
入浴延人数 (名)	452	523	491	494	529	485	495	480	456	436	435	455	5,731
入浴率 (%)	平成30年度	92.2	85.9	86.2	87.9	86.1	85.0	83.4	82.8	81.7	77.1	81.4	84.8
	令和元年度	89.3	90.8	91.3	90.5	93.6	93.6	92.9	93.4	91.9	89.9	87.9	91.5
前年度比 (%)	△2.9	4.9	5.1	2.6	7.5	8.6	9.5	10.6	10.2	12.8	6.5	4.8	6.7

(4) 食事サービス

園内の大きな行事に合わせてイベント食など提供し、利用者より好評を得た。管理栄養士によるバランスの取れたカロリー計算された食事を提供することで、栄養状態の維持及び美味しい食事を提供することが出来た。改善すべきところ(米が固い、肉が噛み切れない等)は、給食会議に提出し、改善されている。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

自尊心を傷付けぬよう尊厳やプライバシーを守り、一人ひとりに快く安心していただけるよう介助を行った。オムツ対応の方に関しても身体的負担を軽減できるよう尿瓶を使用するなどの介助を行った。異常が見られた際には、家族やケアマネジャーへ報告した。

(6) レクリエーション・行事

園内行事だけでなく気候の良い日には、外気に触れる行事を企画することで気分転換を図るとともに、リハビリの意味合いも持たせて身体機能の低下防止に努めた。

【レクリエーション実施状況（回数）】

おとなの学校	55	一文字合わせ	2	マス組み立てゲーム	1
色合わせゲーム	2	紙コップけん玉	23	カラオケ	2
豆つかみ	13	ビー玉ストロー	11	レンゲリレー	15
お手玉のせ	25	足じゃんけん	2	新聞ちぎり	1
マキマキ	18	しりとり	8	伝言ゲーム	6
輪送り	12	単語組み立て	2	パタパタちょうちょ	4
魚釣り	16	くつつきの当て	12	お花摘みゲーム	1
連想ゲーム	8	スリッパ飛ばし	18	輪投げ	7
紅白カルタ	11	ボウリング	17	うっかりホッケー	2
漢字クイズ	11	物干しゲーム	11	計 29 種類	316

【行事実施状況（日数）】

誕生会	18	買い物会	8	運動会	1
甘味ドライブ	7	夏祭り	2	紅葉ドライブ	6
お花見（桜）	7	外食会	6	クリスマス会	1
忘年会	1	もちつき	1	初詣	6
				計 12 種類	64

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（予防事業）サービス

利用者の希望や目標に合わせて身体面および精神面の評価を、機能訓練指導員と共に3ヶ月毎に実施することで利用者の機能維持、向上に努めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	319	0	0	0	498	459	470	456	438	423	432	332	3,827
運動器機能（名）	24	0	0	0	28	24	27	26	32	33	36	33	263
合計	343	0	0	0	526	483	497	482	470	456	468	365	4,090

(8) 送迎サービス

今年度は車両事故が4件あり、事故時の初期対応が統一されていなかった為、事故処理を行わず現場を離れてしまうということがあった。その後すぐに会議を行い、利用者の安心安全に送迎を行うため、車両の操作の統一や朝の送迎前に運転者の体調確認を行った。

【送迎状況】

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え (減算)	30	34	38	30	32	28	31	29	27	25	28	18	350
送り (減算)	16	18	14	23	17	16	14	14	15	11	16	15	189
延回数 (減算)	46	52	52	53	49	44	45	43	42	36	44	33	539

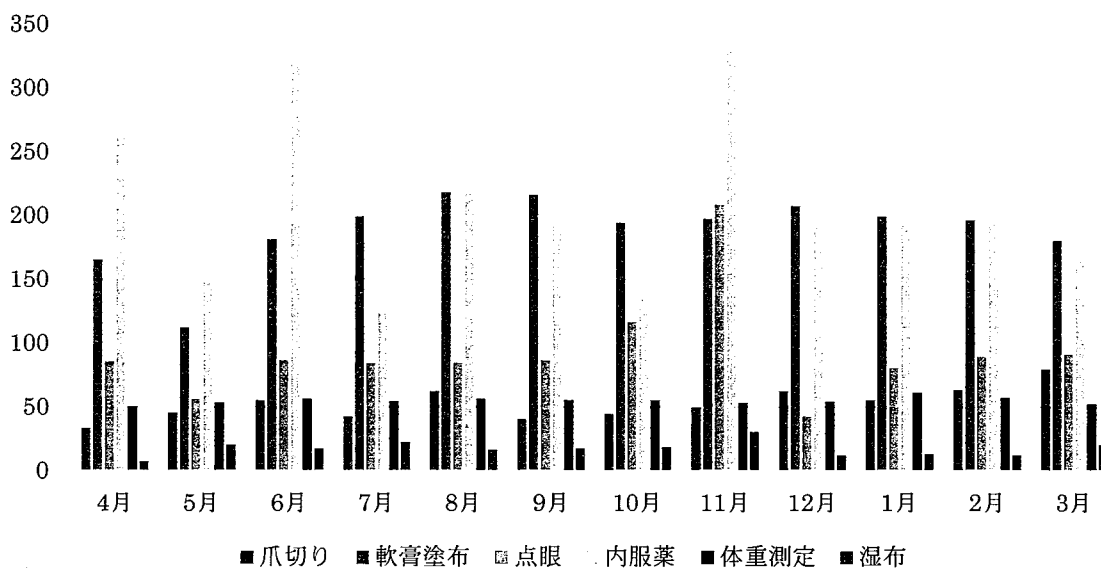
【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	1,010	875	864	722	844	847	816	667	850	801	610	575	9,481
ヴォクシー	772	753	940	875	893	913	837	853	837	855	829	834	10,191
ブレマシー	530	437	711	758	763	766	762	612	512	253	642	643	7,389
シエンタ	950	914	703	745	646	845	649	704	764	758	666	707	9,051
ハイゼット	1,158	840	671	974	1159	888	803	797	749	740	723	667	10,169
タント	1,019	930	953	984	908	814	710	689	474	744	704	667	9,596
合計	5,439	4,749	4,842	5,058	5,213	5,073	4,577	4,322	4,186	4,151	4,174	4,093	55,877

(9) 看護報告 (処置集計報告)

利用者の健康観察を行ない、毎朝のバイタルチェックにて体調確認をし、利用者に心地よく過ごしていただけるよう努めた。食前後の内服薬の確認を行い、利用者の身体の状況把握を行った。入浴時には皮膚疾患や体調の変化の早期発見を心掛け、介護職員とも連携し、症状の悪化防止に努めた。3月からは、新型コロナウイルスの対策として、朝の送迎時に体温測定を実施。37.5度以上の際は利用を控えていただくなど感染予防に努めた。

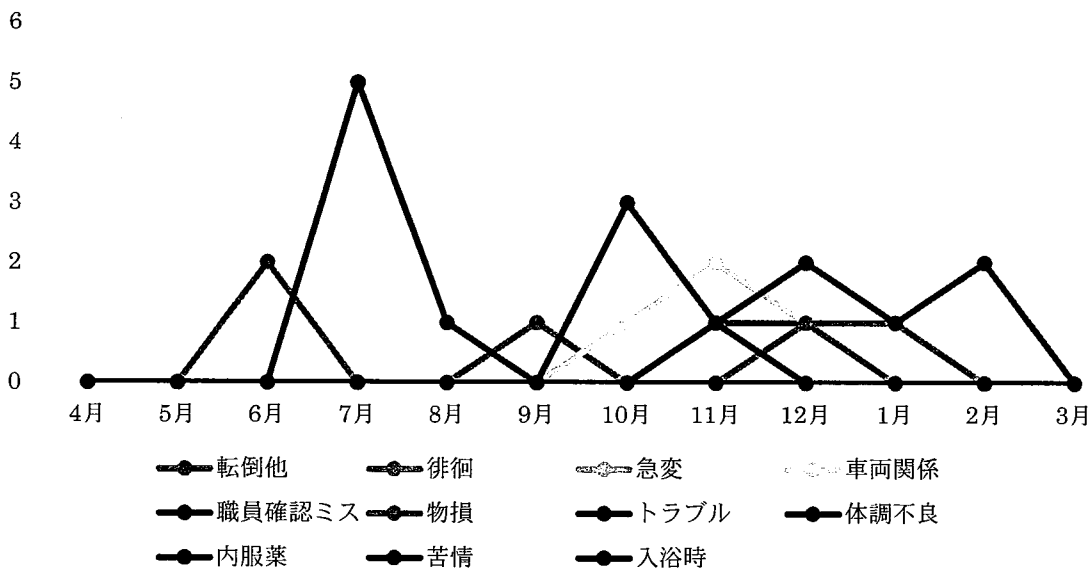
処置集計 (回)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	33	45	55	42	62	40	44	49	62	55	63	79	629
軟膏塗布	165	112	181	199	218	216	194	197	207	199	196	180	2,274
点眼	85	56	86	84	84	86	116	208	42	80	89	91	2,503
内服薬	260	147	318	123	217	197	134	328	198	194	193	194	2,503
体重測定	50	53	56	54	56	55	55	53	54	61	57	52	656
湿布	7	20	17	22	16	17	18	30	12	13	12	20	204
合計	600	433	713	524	653	557	561	865	575	602	610	616	7,309

(10) ヒヤリハット報告

アクシデント・インシデント・トラブル報告 (件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・ずり落ち	0	0	2	0	0	1	0	1	1	1	0	2	8
トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体調不良	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車の物損	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
内服薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品・物損	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
職員確認ミス	0	0	0	5	1	0	3	1	2	1	2	0	15
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入浴時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	2	5	1	1	4	5	5	2	2	2	29

(11) 地域連携・貢献活動（介護予防教室等）

社会福祉協議会主催の「ひとり暮らし交流会」を在宅介護支援センターや地域ケアコーディネーターと協力し、地域交流スペースを活用して近隣住民とレクリエーションや食事を楽しみ、リラックスした雰囲気作りに努めた。

(12) 実習生・ボランティア受入

実習生の受け入れを積極的に行い、筑波大学生に関しては9名受け入れた。教育実習はあったが、将来介護職を担う実習生はいなかった。

【実習生・ボランティア受入報告】

種別	学校名	実人数（名）	延日数（日）
教育実習	筑波研究学園専門学校	1	5
	筑波大学	9	45
合計		10	50

ボランティア名	来園回数(回)
社交ダンス	1
マジックショー	1
語りべ	1
オカリナ	1
合計	4

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	平成 30 年度			令和元年度		
	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）
4月	65	6	0	61	5	6
5月	67	2	1	59	3	2
6月	69	3	1	59	0	1
7月	70	0	1	59	5	2
8月	69	1	11	61	1	2
9月	61	5	1	60	1	1
10月	63	3	2	60	1	1
11月	64	4	1	60	0	1
12月	67	1	1	60	3	2
1月	60	0	2	68	9	1
2月	58	1	0	68	0	2
3月	59	1	0	68	2	3
合計	772	27	28	743	30	24

(2) 介護度別利用者

要介護度	平成 30 年度 (平成 31 年 3 月 31 日現在)		令和元年度 (令和 2 年 3 月 31 日現在)		前年度比	
	実人数 (名)	構成比 (%)	実人数 (名)	構成比 (%)	実人数 (名)	構成比 (%)
支 1	4	7.3	3	5.4	△1	△1.9
支 2	3	5.5	3	5.4	0	△0.1
1	12	21.8	10	17.9	△2	△3.9
2	24	43.6	27	48.2	3	4.6
3	7	12.7	7	12.5	0	△0.2
4	4	7.3	5	8.9	1	1.6
5	1	1.8	1	1.7	0	△0.1
介護保険外	0	0.0	0	0.0	-	-
計	55	100	56	100	1	0

(3) 利用者年齢構成

年齢 (歳)	平成 30 年度 (名) (平成 31 年 3 月 31 日現在)		令和元年度 (名) (令和 2 年 3 月 31 日現在)		前年度比 (名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	1	0	1	－	0
65～69	0	0	0	0	－	－
70～74	1	1	0	1	△1	0
75～79	1	1	4	3	3	2
80～84	1	9	4	5	3	△4
85～89	1	19	2	19	1	0
90～	2	23	2	21	0	△2
男女別合計	6	54	12	50	6	△4
男女比 (%)	10.0	90.0	19.4	80.6	9.4	△9.4
合計	60		62		2	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（令和2年3月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
藤沢	9	大畑	4	中貫	4
本郷	1	上坂田	2	小山崎	1
虫掛	1	並木	5	中央	1
高岡	6	都和	1	市外	19
小高	2	田土部	1	合計	67
下坂田	3	永井	1		
藤沢新田	1	真鍋	2		
大志戸	1	沢辺	2		

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	1
二中地区	3
三中地区	0
四中地区	0
五中地区	0
六中地区	0
都和中地区	7
新治中地区	33
市外	19
合計	63

支援センター憩いの里

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

介護支援専門員、管理者兼務 1 名体制で事業運営。適宜施設長に相談報告を行い事業運営行ってきた。新規利用者件数も順調に伸び、10 月から 2 人体制の予定であったが、急遽予定者退職、利用者数上限まで担当し、新規依頼が月に多い時で 5 件ある状態、やむなく断っている状況である。

常に利用者の予後予測を行い、継続的で安定した在宅生活を送れるよう支援をしてきた。入退院時連携に関して積極的に行い、病院と連携行うことで加算の取得を積極的に行い入院前の ADL が保てるよう、スムーズに在宅に戻るよう支援行った。

2. 居宅介護サービス計画実施状況（要介護度別分類）

<介護プラン>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	18	19	24	26	24	32	37	35	36	37	35	38	361
市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	19	24	26	24	32	37	35	36	37	35	38	361

月平均 30 件。地域包括かんだつからの紹介ケースが多く、エリア的には、真鍋、神立方面が多い。施設の近隣からの依頼が少ない状況であり、来年度人員増加予定のため、近隣からの依頼を積極的に受け、地域から選ばれる事業所とし地域貢献できるようにしていく。

<介護予防プラン（包括支援センター委託）>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
県外	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
計	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18

月平均 1.5 件の介護予防を担当。10 月からは、台風の被災者を郡山市から委託を受ける。

<居宅サービス契約者介護度別件数>

平成 30 年度

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
件数	23	25	198	218	41	52	30	587

平成 31 年度

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
件数	0	18	157	146	30	32	8	391

最も依頼が多いのが、要介護 1 と 2 となっている。ケアマネの人員数の減少等から前年度と比較し 196 件の減となっている。

3. 認定調査

認定調査の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	4	3	3	1	0	1	3	3	0	2	3	0	23
市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
計	4	3	3	1	0	1	3	3	0	2	4	1	25

認定調査の実施件数は、土浦市内（23件）、市外（2件）行った。

4. その他研修

土浦ケアマネジャー研究会	
9月	居宅介護支援事業所への実地指導のポイント
1月	医療と介護連携のための情報交換会
茨城県ケアマネジャー協会	
4月	牛久・竜ヶ崎・利根・河内地区会設立総会
5月	那珂・太田合同地区会
6月	つくば地区会 第2回研修
10月	いしおか地区会研修会
2月	土浦かすみがうら地区会
その他	
5月	セントラル土浦通所リハビリテーション伝達講習会
11月～2月	主任介護支援専門員更新研修
2月	在宅医療・介護連携拠点事業 市民講演会

土浦市在宅介護支援センター憩いの里
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（新治地区担当）

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1) 台帳作成	27	(2) 緊急通報	6	(3) 配食サービス	3

前年度業務合計は 25 件だったが今年度は、36 件と 11 件増加した。台帳は、7 件増加し地域ケアコーディネーターや包括支援センターからの情報提供もあり、新規の台帳作成を行うことができた。配食サービスに関しては 2 件増加し、緊急通報システムに関しても 2 件増加している。前年度と比較すると一人暮らしが増加し、担当ケアマネジャーからの依頼が多くみられた。

2. 相談

（方法×続柄集計）

相談区分		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務時間	電話	33	21	6	27	10	20	17	5	139
	来所	1	6	3	0	3	4	4	1	22
	訪問	75	37	6	3	8	39	5	2	175
時間外	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	3	0	0	0	0	3	0	0	6
合 計		112	64	15	30	21	66	26	8	342

今年度の相談合計数は 342 件と前年度と比較し、72 件減少した。要因としては新型コロナウイルスの影響で訪問を拒否されてしまい、中々自宅訪問に繋げることができなかったことである。前年度に比べて民生委員や地域との関わりが少なく、同行訪問する件数が減少した。来年度は積極的に地域に出向き一人暮らし高齢者や高齢者世帯への訪問を行っていく。

（相談区分×続柄集計）

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1)家族の支援	50	36	7	3	8	32	10	0	146
(2)介護保険制度	39	26	1	4	4	25	10	0	109
(3)福祉サービス	76	38	5	22	9	37	18	5	210
(4)保健・医療	12	14	1	0	2	10	5	0	44
(5)経済・住まい	4	4	2	0	2	1	5	0	18
(6)地域の困りごと	1	0	0	0	0	1	0	0	2
(7)その他	67	30	8	5	5	39	5	0	159
(8)二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9)虐待・権利擁護	0	0	1	4	6	3	0	0	14
(10)ケアマネ支援	0	1	0	0	0	1	2	0	4
(11)認知症関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	249	149	25	38	36	149	55	5	706

前年度の1,044件と比較すると706件と減少している。理由としては、新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、スムーズな訪問が出来なかったことが考えられる。電話連絡をしても訪問を拒否されたり、昨年以上に自宅訪問しても玄関を開けていただけず門前払いされることが多かった。そして、今年度は民生委員からの相談が前年度に比べると減少した。今年度は(1)家族の支援や(2)介護保険制度、(3)福祉サービスについての内容が多かったが、(5)(6)(9)(10)(11)についての相談は少なかった。現状としては、まだ在宅介護支援センターの存在が市民に知られておらず、新卒の詐欺や勧誘と勘違いする方もいた。その為、来年度はこれまで以上に身近な相談窓口としてのアピールをしていく必要があると考える。

3. 会議出席回数等

件名	件数(回)
(1) ふれあい調整会議	4
(2) スクラムネット	12
(3) その他	34
合計	50

今年度も閉じこもりや虐待ケースなど困難なケースが多かった。今年度はスクラムネット会議、ふれあい調整会議だけでなく、今年度より第二層協議体の設置によって地域の方を巻き込んでの会議を実施することで他職種の方々のいろんな視点や経験から地域の困り事を出し合い、解決に導く話し合いができた。

4. その他

今年度は、地域の方に一人でも多く憩いの里を認知していただくべく、社会福祉協議体主催の「ひとり暮らし会食会」を憩いの里地域交流スペースで実施した。新治地区だけでなく他地区のコーディネーター、憩いの里職員とも協力して送迎から弁当の配達まで行った。参加者一名ホール内で転倒してしまったが、特養看護師の迅速な対応で大事には至らなかった。デイサービス職員によるレクリエーションや脳トレプログラムを行い、参加者には楽しんでいただくことができた。来年度も継続して実施していけるようコーディネーターや民生委員と連携を密にしていく。

令和元年度

事業報告書
社会福祉法人 祥風会

デイサービス
土浦市ふれあいセンター

ながみね

理事長 羽鳥 圭一
管理者 沼尻 知士

〒300-0849 土浦市中村西根2078-1
TEL 029-830-5610
FAX 029-830-5611
URL <http://showfukai.com>
E-Mail nagamine@showfukai.com

飛羽ノ園デイサービスながみね
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 25 名)

1. 運営

令和元年度も引き続き『自助・互助・共助・公助』を重点目標とした。利用者及び家族には安心・安全なサービスを提供し、利用されていない方々には介護や老後の心配事の相談窓口としても役に立てるよう心掛けた一年であった。

今年度よりケアマネジャーへの情報提供方法を変え、月に1度サービス提供表をお渡しする際に1か月間のモニタリング表を提供することとした。具体的には、ご利用者様の様子をケアプラン（及び通所介護計画）の各短期目標を中心に評価し、一覧表にまとめて情報提供した。ケアマネジャーからはデイサービスでの様子や小さな変化が分かって次のケアプランの見直しに役立っているとの評価も頂けた。モニタリング表を取り入れることにより各職員も全体的な様子や変化に注意することも大切だが、そもそもデイサービスを利用している目的が短期目標を知ることにより、より明確となり記録の重要性やケアマネジャーとの連携への理解も深まってきたと感じた。

実績報告としては、月ごとに前年度の同月と比べて増減を繰り返しており、最終的な稼働率としてはマイナス1.1%となった。

尚、年度末より新型コロナウイルスが世界で流行しはじめ、日本国内においても緊急事態宣言がでるなど介護業界にも大きな影響が出ておりデイサービスの安全な運営が厳しくなっているが、可能な限り営業の機会を増やし、体験利用としてながみねに来て頂き、体験利用から利用開始に繋がるような流れを作れるよう努めたい。

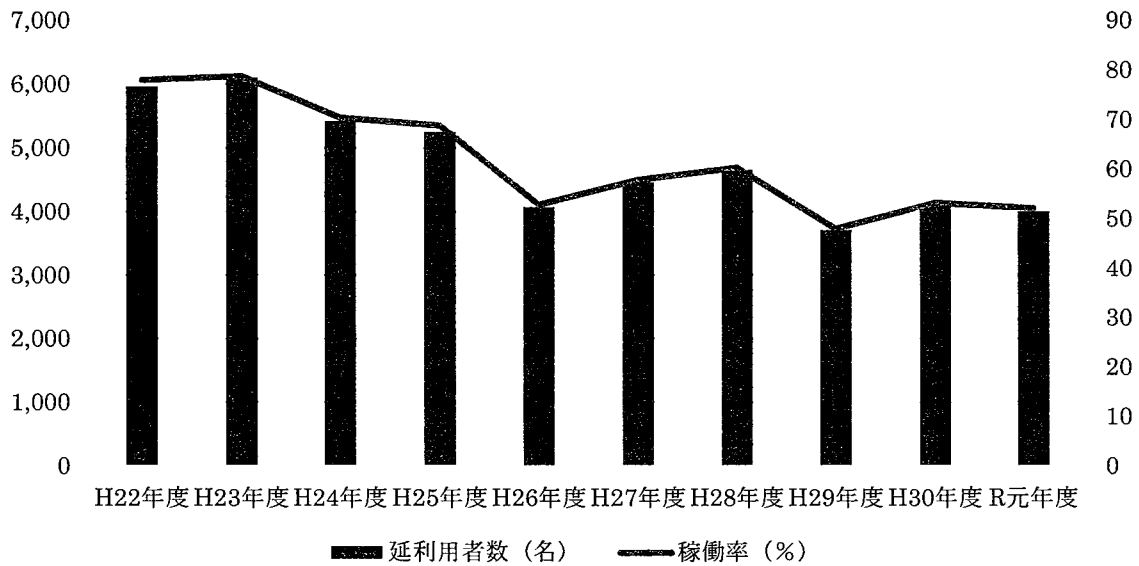
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(日)		25	27	26	26	27	25	25	26	24	24	25	26	306
実人数(名)		44	43	44	43	45	43	41	41	41	41	40	41	507
延人数(名)		317	343	351	346	354	327	338	340	315	307	328	327	3,993
平成 30年度	平均利用者数(名)	13.2	13.1	12.8	12.8	13.6	13.1	12.7	13.8	14.6	11.8	14.4	14.0	13.3
	稼働率(%)	52.8	52.5	51.2	51.2	54.3	52.3	50.6	55.0	58.3	47.3	57.6	56.0	53.2
令和 元年度	平均利用者数(名)	12.7	12.7	13.5	13.3	13.1	13.1	13.5	13.1	13.1	12.8	13.1	12.6	13.0
	稼働率(%)	50.7	50.8	54.0	53.2	52.4	52.3	54.1	52.3	52.5	51.2	52.5	50.3	52.2
稼働率(%) 前年度比		△2.1	△1.7	2.8	2.0	△1.9	—	3.5	△2.7	△5.8	3.9	△5.1	△5.7	△1.0

(2) 年間利用状況の推移

延利用者数（名）・稼働率（％）



	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延利用者数 (名)	5,954	6,097	5,415	5,242	4,064
稼働率 (%)	78	78.8	70.4	68.8	52.8
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延利用者数 (名)	4,454	4,646	3,701	4,103	3,993
稼働率 (%)	57.9	60.3	48.0	53.2	52.2

(3) 介護度別利用状況

要介護度	平成 30 年度		令和元年度		前年度比	
	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)
支 1	316	7.7	329	8.3	13	0.6
支 2	236	5.8	324	8.1	88	2.3
1	1,424	34.7	1,353	33.9	△71	△0.8
2	798	19.4	975	24.4	177	5.0
3	721	17.6	524	13.1	△197	△4.5
4	460	11.2	432	10.8	△28	△0.4
5	148	3.6	56	1.4	△92	△2.2
介護保険外	0	0	0	0	0	0
計	4,103	100	3,993	100	△110	—

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

利用者はもちろんのこと、家族・ケアマネジャーからの要望や意見を活かす為に、今年度から行っている実績報告モニタリング表を作成して配布する事で、細かな部分まで対応する事ができた。職員の入替わりもあり、新人職員の育成に力を入れ基礎的な部分を含め、介護力、運転技術、コミュニケーション能力の向上に努めた。内部研修等を通しスキルアップや他デイサービスでの取組などを知り、質の向上に努めた。

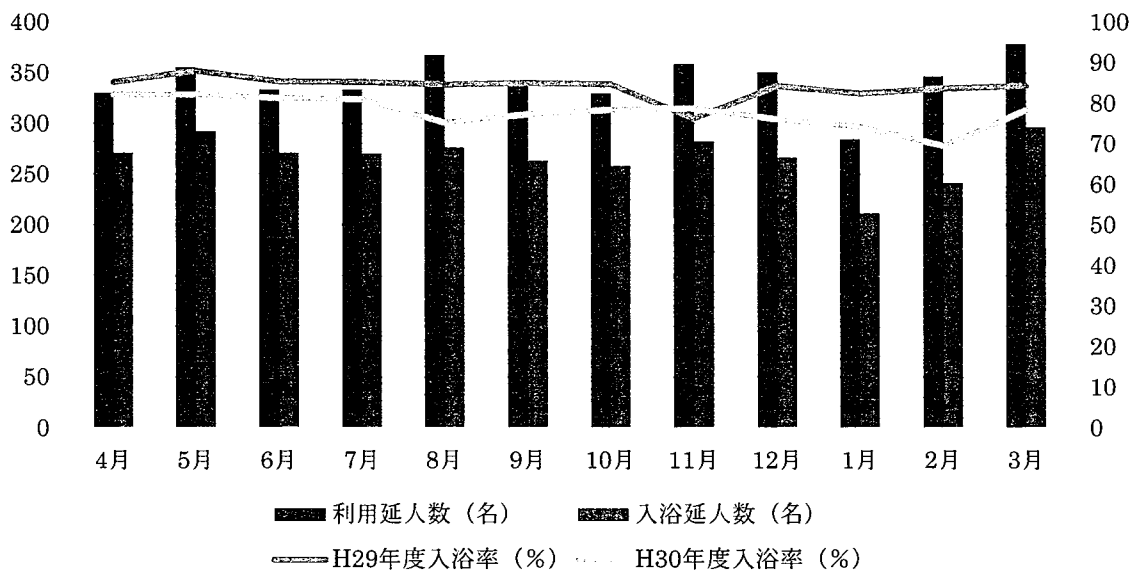
(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者の状態変化に配慮し、リスクが生じた場合にはすみやかに家族・ケアマネジャーへ報告し、介護計画書の見直しに努めた。月々に当施設からのモニタリング表を発送し施設内での生活内容が伝わりやすくなるように努めた。内容の改善点も考えられているため職員間で検討を継続し今後も通所介護計画書の内容を職員間、及び担当ケアマネジャーと共に確認・熟知するよう努めていきたい。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

バイタルチェックをもとに他職員と連携し、安全に入浴ができるように努めた。入浴メインで利用されている方もいる。バイタルの数値が良くない方などへの声掛けや対応の方法を看護師と連携し、今後もそういった方が気持ちよく安心して入浴できるよう体制を整える。

延入浴者数（名）・入浴率（％）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数 (名)	317	343	351	346	354	327	338	340	315	307	328	327	3993
入浴延人数 (名)	235	253	258	255	265	243	247	254	232	224	242	245	2953
入浴率 (%)	平成30年度	82.1	82.2	81.3	81.0	75.2	77.3	78.4	76.0	74.2	69.6	78.3	77.9
	令和元年度	74.1	73.8	73.5	73.7	74.9	74.3	73.1	73.7	73.0	73.8	74.9	74.0
前年度比 (%)	△8.0	△8.4	△7.8	△7.3	△0.3	△3.0	△5.3	△4.0	△2.3	△1.2	4.2	△3.4	△3.9

(4) 食事サービス

利用者にとって食事は日々の大きな楽しみであると同時に、健康を左右する大切な要素の一つである為、一人ひとりの嗜好と栄養状態に合った食事の提供に努めた。その中で季節感を大切に、利用者には喜ばれるメニュー作りを心掛けた。また、選択食の実施やおやつ作りなどを通して選ぶ楽しみ、作る楽しみを体感して食への関心を持つ手助けができた。

1. 栄養所要量

	栄養所要量								
	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
	(kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(mg)	(mg)	(mg)	(g)
4月	682	26.5	17.4	173	4.2	0.41	0.43	55	1.65
5月	675	28	17.9	188	4.3	0.39	0.44	48	1.724
6月	687	28.2	18.5	197	4.4	0.41	0.43	54	1.729
7月	667	26.2	16.5	168	4.1	0.36	0.38	50	1.679
8月	681	27.3	17.5	167	4.1	0.4	0.4	45	1.669
9月	680	27.2	18.1	183	4.2	0.38	0.4	52	1.568
10月	680	26.5	17.3	174	4	0.39	0.42	52	1.64
11月	677	26.9	18	184	4.1	0.37	0.42	54	1.6
12月	686	28.1	18	172	4.3	0.38	0.44	55	1.582
1月	687	27.8	17.4	184	4.3	0.39	0.42	51	1.675
2月	679	27.4	17.4	174	4.3	0.39	0.45	54	1.596
3月	671	27.7	16	182	4.3	0.4	0.44	53	1.619
平均	679	27.3	17.5	179	4.2	0.39	0.42	52	1.6

2. 食事提供状況

①食数（食）

令和元年度	
デイ利用者	3,507
職員	919
お弁当、定食(500円)	447
実習生	2
延長（夕食）	0
他(付添、体験利用者)	体験 9
合計	4,884

②毎食時の検食実施（検食簿記入）

利用者の視点で、主食・副食の分量や味付け、加熱状況などが適切となっているか他業種の職員がチェックすることで調理法など、より良い提供ができるよう努めた。

3. 選択食

日時	A	B
H31年4月18日	ロールキャベツ	タラのカレー風味マリネ
R1年5月24日	焼き鳥井	鮭ご飯
R1年6月29日	野菜たっぷり豚しゃぶ	揚げタラの薬味ソースかけ
R1年7月24日	茄子の挟み揚げ	豚肉の和風ピカタ
R1年8月22日	鶏肉のトマトソース煮	タラの甘酢あんかけ
R1年9月20日	親子丼	中華丼
R1年10月19日	鶏肉ときのこのホイル焼き	ロールキャベツ
R1年11月20日	鶏竜田の南蛮漬け	揚げ豆腐の海鮮あんかけ
R1年12月20日	ブリの梅おろし煮	チキンロール
R2年1月16日	中華丼	釜めし風ご飯
R2年2月8日	豚肉の和風ピカタ	白身魚のゆず味噌焼き
R2年3月25日	春野菜のかき揚げ丼	親子丼

4. 行事食

	誕生会	その他	おやつ教室
4月	ちらし寿司 いちごケーキ		イチゴムース
5月	赤飯 オレンジケーキ		豆腐の葛餅
6月	赤飯 イチゴのムースケーキ		オレンジケーキ
7月	鮭の混ぜ寿司 豆腐のスフレケーキ	七夕	チーズケーキ
8月	ちらし寿司 オレンジムースケーキ	ながみね祭り	ショコラケーキ
9月	混ぜご飯 みかんのムースケーキ	敬老会（紅白饅頭）	抹茶ムース
10月	赤飯 白桃のムースケーキ	焼きいも	ほうじ茶プリン
11月	赤飯 りんごケーキ		
12月	赤飯 いちごのムースケーキ	餅つき（鏡餅）	ヨーグルトムース

1月	赤飯 抹茶のムースケーキ		甘酒チーズケーキ
2月		節分（クレープ作り）	バナナキャラメルケーキ
3月	赤飯 ミックスベリーのケーキ	ひな祭り（桜餅）	

7/2 ～：一週間お風呂上りに利用者と作成した梅ジュースを提供

10/22～24：中庭にて抹茶をたて、バーベキューセットを使用して焼きいもを提供

5. 衛生管理

- ・検便：毎月実施（新規採用者は入職前に必ず検査する）
- ・食品の中心温度の測定の実施（測定結果は給食日誌に記入）
- ・原材料及び検食の冷凍保存の実施（14日間）
- ・害虫駆除の実施状況の確認（年4回実施）
- ・厨房内の定期的な清掃の実施(自己衛生管理表に記入)
- ・包丁、まな板、調理台、水槽の使い分けの徹底、時間、温度の管理
- ・自主点検表による白衣、爪、指輪、マニキュアの有無、手指の傷の有無、下痢、腹痛等の体調不良のチェック
- ・食材の定期的な放射性物質測定を毎月実施
- ・厨房外下水清掃を毎月実施

6. 売り上げ・食材仕入れ額

地元の野菜を安く仕入れ、冷凍品や加工品が値上がりするなか、新鮮で安い地元の食材をうまく活用した。

7. 嗜好調査の実施

2月に利用者や家族にアンケートを実施。また、介護職員・看護職員と連携し、利用者からの要望を聞き取り、食事の様子を厨房職員も一緒に観察することで嗜好を把握した。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

プライバシーには十分配慮した。定期的な声掛けで失禁が減った、車イスでトイレに行けるようになった、ベッドではなくトイレで排泄できるようになった等の自立へ向けた排泄介助を主軸として介助を行った。

(6) レクリエーション・行事

今年度は、毎日行うレクリエーションの充実を考え様々なレクリエーションを行ってきた。脳リハトレーニング、運動レクリエーションを多岐にわたり実施する事を目標として、脳リハトレーニングを実施する際には、アイスブレイキングとして指の運動等の簡単な運動を取り入れるなどの工夫をした。脳を使うレクリエーションでは様々な題材を扱い、利用者がまず興味を示し、好奇心をくすぐる様なレクリエーションを行ってきた。実施当初は、利用者の理解が難しいと思われるシーンが見受けられたが、職員間でも出題方法や、ヒントの出し方等の検討をしてきた結果、今では利用者の参加意欲の向上にも

繋がり人気のレクリエーションになった。水中ウォーキングの日数を週に1日にして、プールは使用せずにデイサービス浴槽を使用する事で利用者より着替え時の寒さ、ふれあいセンターの一般のお客様がいる中での恥ずかしさ等の、訴えの聞かれていた問題について解決し、快適な環境での水中ウォーキングを行う事が出来た。来年度は更に利用者一人一人の希望に沿い楽しみながら行える行事やレクリエーションを考え満足度を高めたい。

【レクリエーション実施状況（回数）】

水中ウォーキング	11	創作活動	801	ゴルフ	14
サッカー	13	輪投げ	11	テーブルゲーム・トランプ	12
輪投げ	11			その他	147
				計 14 種類	1,020

今年度は、できる限り毎日違ったレクリエーションを提供することを目標にしてきたため、その他の部分が多くなっている。（例）ストラックアウト、歌振り付け、ふわふわ飛ばそう、スリッパ飛ばし、洗濯ばさみゲーム、茶会、坂道ころころ、おみくじスロー、まきまきゴール、ジェスチャーゲーム等

【行事実施状況（参加人数）】

園内外散歩	267	おやつ教室	14	計 2 種類	281
-------	-----	-------	----	--------	-----

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（予防）サービス

加算算定は行っていないがそれぞれの残存機能に応じた声掛け・見守り・一部介助での日常生活動作等のリハビリを実施した。四肢の運動機能低下による転倒防止、平行棒を利用した歩行訓練階段昇降での運動機能向上に努めた。個別リハでは、理学療法士による個別プログラムを作成して身体能力に合わせたものを実施した。毎日、食前の口腔体操やカラオケによる心肺機能の維持向上にも努めた。水中ウォーキングも定着してきている。毎月1回の個別機能訓練計画モニタリングを実施している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	7	5	6	6	6	7	6	7	6	7	8	6	77
運動器機能（名）	33	36	35	39	34	37	30	32	33	33	35	35	412
合計	40	41	41	45	40	44	36	39	39	40	43	41	489

(8) 送迎サービス

事故防止と個々に合わせたルートや時間の調整等、利用者や家族の要望に応えられるよう努めた。今年度は大きな事故はなかったが利用者より運転の質についての訴えが多く聞かれた。安全安心は勿論の事、利用者が快適に乗車できるように送迎技術の向上、車内での会話等の充実を図る。

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え	312	341	349	346	347	313	329	331	303	295	311	312	3,889
(減算)	1	2	2	0	6	12	9	10	12	11	16	16	97
送り	311	337	350	337	339	309	319	325	300	291	309	299	3,826
(減算)	2	6	1	9	15	17	19	16	15	16	19	17	152
延回数	623	678	699	683	696	622	648	656	603	586	620	611	7,715
(減算)	(3)	(8)	(3)	(9)	(21)	(29)	(28)	(26)	(27)	(27)	(35)	(32)	(249)

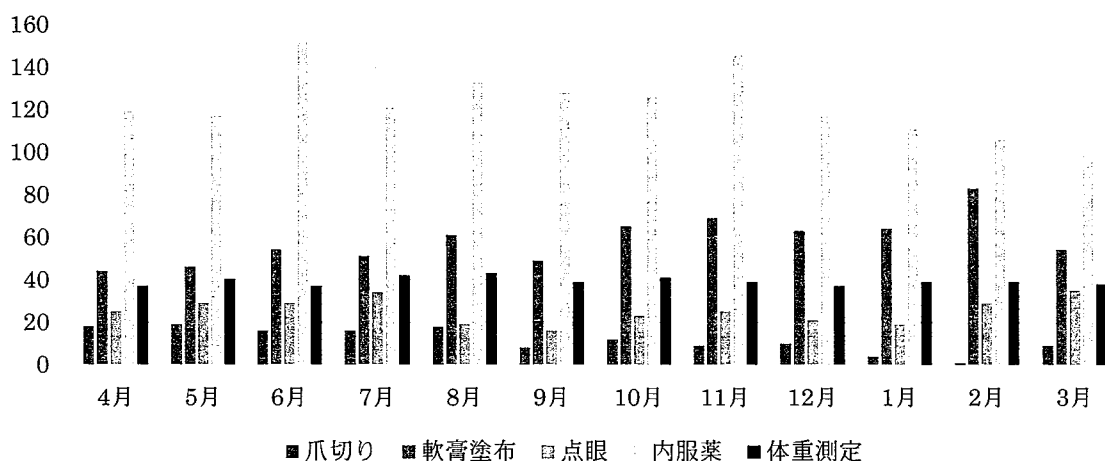
【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キャラバン	753	623	377	358	287	138	190	496	111	152	2	49	3,536
VOXY	0	0	0	0	0	0	0	586	680	875	1,362	948	4,451
MPV	948	841	969	685	663	709	695	499	555	508	602	498	8,172
セレナ	744	761	836	723	758	761	723	776	609	652	677	670	8,690
ムーブ	837	843	887	769	911	1043	1106	788	615	738	721	1,558	10,816
ワゴンR	270	182	386	666	595	712	656	460	507	301	164	543	5,442
合計	3,552	3,250	3,455	3,201	3,214	3,363	3,370	3,605	3,077	3,226	3,528	4,266	41,107

(9) 看護報告（処置集計報告）

利用者本人への声掛けによる体調確認やバイタルチェックをすることで個々の体調を把握して利用者に合わせ負担にならないようにサービスを提供できた。利用者の希望に応じて軟膏塗布・湿布貼付・点眼・内服薬の管理を行った。爪切りや耳かきも本人・家族では行えない方や希望される方に実施した。口腔ケアに対しては来所時と食後に実施し清潔保持・感染予防・誤嚥による肺炎予防に努めた。突然の体調不良時などは家族・ケアマネジャーに連絡し迅速な対応ができた。長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）を定期的実施し、記憶を中心とした認知機能障害の有無をとらえる事や、毎月1回、全利用者の体重測定を行い、家族やケアマネジャーへの報告を行なっている。

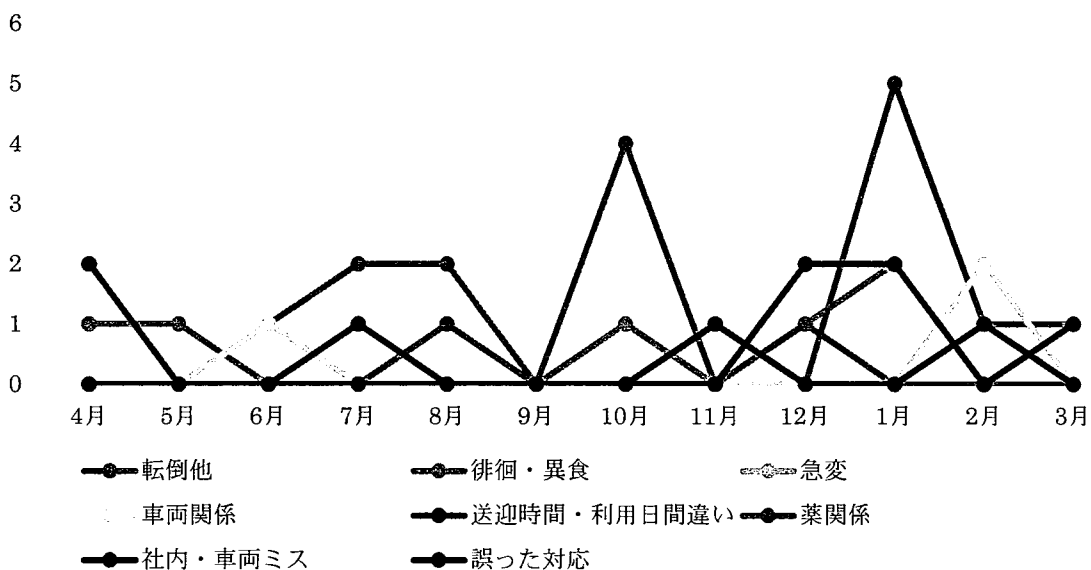
処置集計（回）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	18	19	16	16	18	8	12	9	10	4	1	9	140
軟膏塗布	44	46	54	51	61	49	65	69	63	64	83	54	703
点眼	25	29	29	34	19	16	23	25	21	19	29	35	304
内服薬	119	117	152	121	133	128	126	146	117	111	106	102	1478
体重測定	37	40	37	42	43	39	41	39	37	39	39	38	471
合計	243	251	288	264	274	240	267	288	248	237	258	238	3,096

(10) ヒヤリハット報告

アクシデント・インシデント・トラブル報告 (件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落・外傷	2	0	1	2	2	0	4	0	0	5	1	1	18
徘徊・異食	1	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	6
利用者急変	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
車両の物損・スピード・接触	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
送迎時間・利用日間違い	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
薬関係	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
社内・車両ミス	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	0	1	6
誤った対応	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
合計	5	1	2	3	3	0	5	2	4	9	5	2	41

(11) 地域連携・貢献活動 (介護予防教室等)

ふれあいセンター共催での夏祭り・もちつき大会等実施した。来年度は地域へ活動の場を広げ、廃品回収・地域行事等にも積極的に参加していきたい。

(12) 実習生・ボランティア受入

今年度は、新たなボランティアの受け入れに力を入れてきた。劇団や単独のギター演奏等、新しい感覚で利用者に満足いただくことが出来た。また利用者から人気のある琴のボランティアの方々には今年も敬老会に来館頂き、利用者からは「満足の声」が聞かれた。今後も新規・新しいジャンルのボランティアの開拓をはじめ、積極的な受入を行う。

【実習生・ボランティア受入報告】

種別	学校名	実人数（名）	延日数（名）
実習生	土浦市役所	2	1
合計		2	1

ボランティア名	来園回数（回）
こもれび	34
大正琴	6
箏さらりん	3
劇団予科練一座 七桜	5
今野様ギター演奏	1
新治マジック	4
フラダンス	2
ギター演奏	1
合計	56

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	平成 30 年度			令和元年度		
	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）
4月	55	7	0	53	1	2
5月	57	1	4	53	1	0
6月	57	0	3	54	1	2
7月	54	4	2	55	3	0
8月	57	0	1	56	1	0
9月	57	1	3	55	2	3
10月	59	1	1	51	0	5
11月	61	3	0	50	1	3
12月	62	0	0	49	2	1
1月	62	0	0	49	1	2
2月	62	2	0	45	2	2
3月	64	3	3	46	1	0
合計	707	22	17	616	16	20

(2) 介護度別登録利用者

要介護度	平成 30 年度 (平成 31 年 3 月 31 日現在)		令和元年度 (令和 2 年 3 月 31 日現在)		前年度比	
	実人数（名）	構成比（%）	実人数（名）	構成比（%）	実人数（名）	構成比（%）
支 1	3	6.2	2	4.9	△1	△1.3
支 2	4	8.3	2	4.9	△2	△3.4
1	14	29.2	14	34.1	0	4.9

2	13	27.1	13	31.7	0	4.6
3	7	14.6	4	9.8	△3	△4.8
4	5	10.4	6	14.6	1	4.2
5	2	4.2	0	0	△2	△4.2
介護保険外	0	0	0	0	0	0
計	48	100	41	100	△7	—

(3) 利用者年齢構成

年齢（歳）	平成30年度（名） （平成31年3月31日現在）		令和元年度（名） （令和2年3月31日現在）		前年度比（名）	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	2	0	0	0	△2
65～69	0	0	0	0	0	0
70～74	1	3	0	1	△1	△2
75～79	3	3	3	1	0	△2
80～84	7	13	5	7	△2	△6
85～89	10	10	6	9	△4	△1
90～	2	13	3	10	1	△3
男女別合計（名）	23	44	17	28	△6	△16
男女比（％）	34	66	38	62	4	△4
合計（名）	67		45		△22	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（平成31年3月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
中	1	霞ヶ岡	1	板谷	1
中村南	2	永国東	2	うずら野	1
乙戸	3	中村東	2	並木（つくば）	1
烏山	3	中村南	1	下広岡（つくば）	1
西根南	3	中村西根	2	ひたち野東（牛久）	1
荒川沖西	1	北荒川沖	3		
小松	2	摩利山新田	1		
荒川沖	1	天川	4		
下高津	2	中央	1		
上高津	1	荒川沖西	1		
中高津	2	荒川沖東	1	合計	45

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	1
二中地区	0
三中地区	20
四中地区	14
五中地区	0
六中地区	5
都和中地区	1
新治中地区	0
朝日中地区	1
市外	3
合計	45

土浦市ふれあいセンターながみね 土浦市指定管理者受託事業

1. 運営

土浦市唯一の「ふれあいセンター（～子どもから高齢者まで幅広い年齢層が利用できる複合的福祉施設～）」としてその役割である幅広い年齢層の世代間交流、また利用者の健康増進や文化的交流促進のため、地域・市民及び各種団体等との連携を図りながら市民の福祉の向上に資するための運営に努めた。

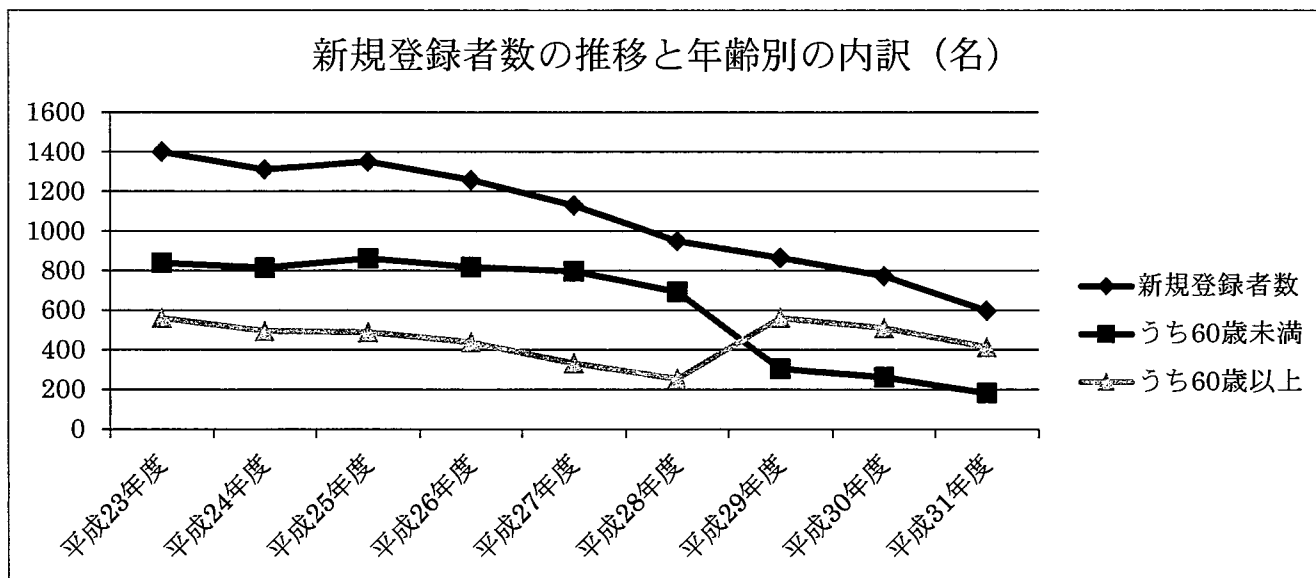
施設利用者と共に明るく楽しく安心して利用できるふれあいセンターを目指し、センターの中心設備であるプールと浴室を皆様に快適に使って頂けるよう日常の管理業務を適切に実施した。

- (1) 市民の福祉の増進を図るとともに世代間交流を支援し、広く福祉の向上に資することを目的とした管理運営を行った。
- (2) 施設の適切な維持管理及び効率的な運営に努めた。
- (3) 業務にあたっては、関連する法規を遵守した。
- (4) 利用者に対するサービス提供に努力し、利用の促進を図った。
- (5) 土浦市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底した。

2. 事業報告

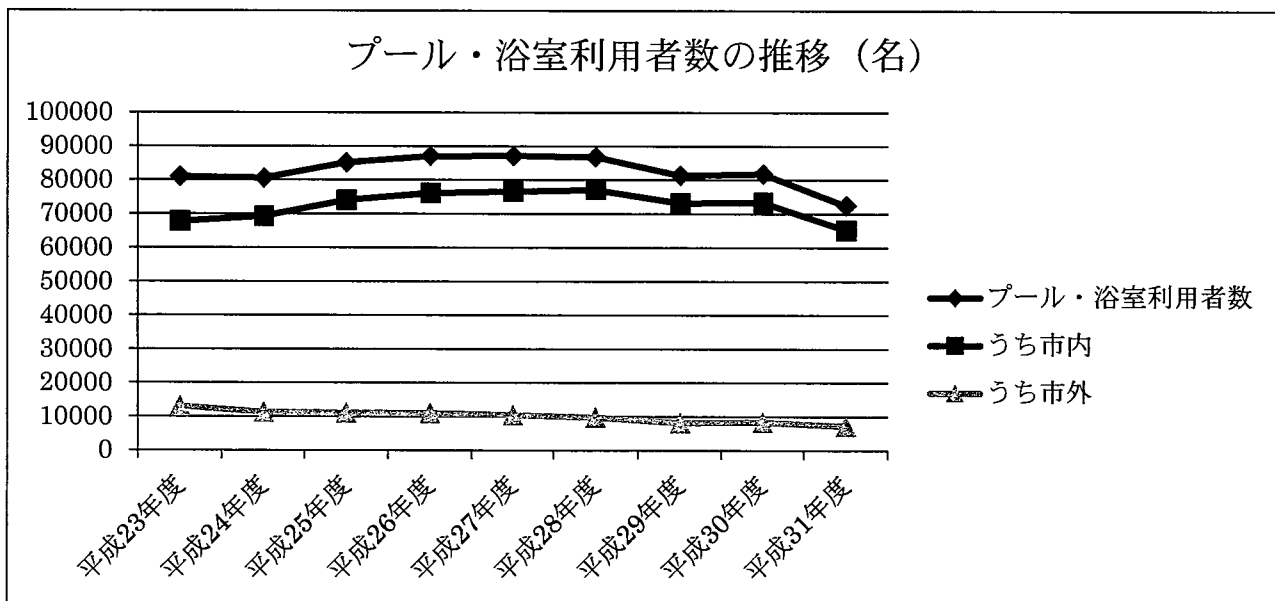
(1) 施設の運営

①市内利用者登録証の発行、プール・浴室、各部屋の利用状況



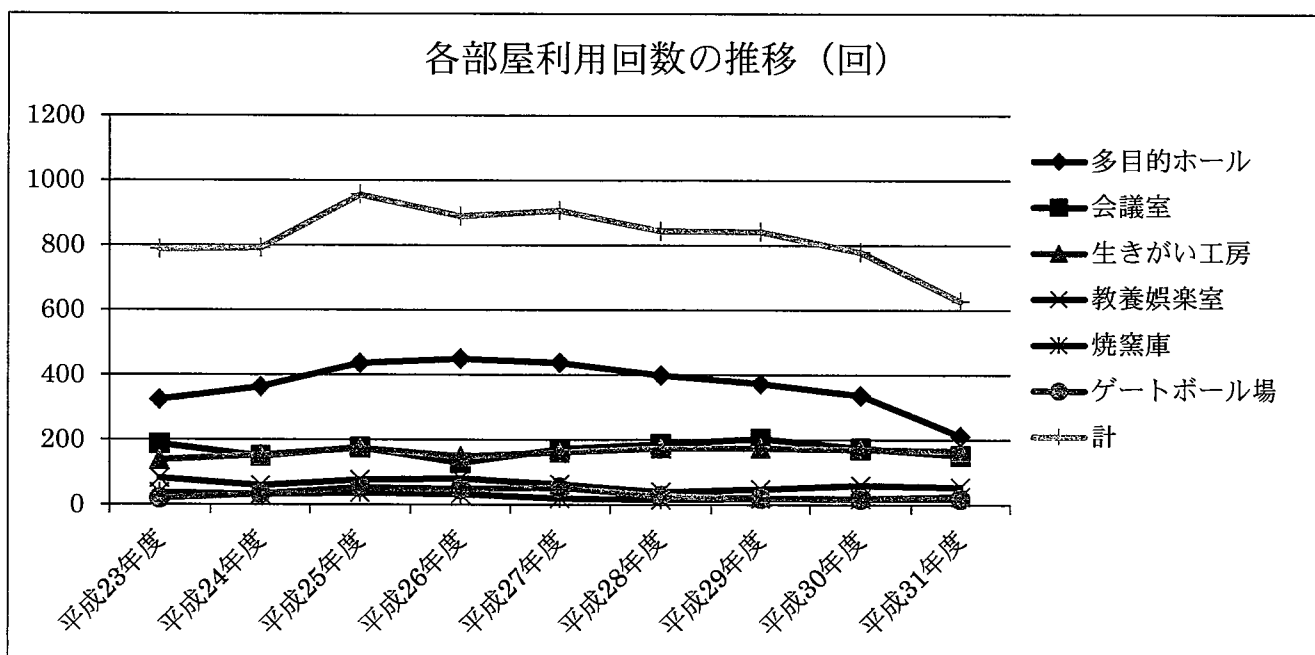
登録者延人数は13,331名(令和2年3月31日現在)、今年度の新規登録者数は598名、前年度の77.3%と減少しており、過去最低の新規登録者数となった。昨年度同様に新規登録者のうち、60歳未満の登録者よりも60歳以上の登録者の数が多いという逆転現象が今年度も引き続いている。

プール・浴室利用者数の推移（名）



施設のメインであるプール・浴室においては利用延人数 72,520 名（内減免・無料利用者数は 10,004 名）で、前年度の約 88.6%（減免・無料利用者数は前年度の 56.8%）と大幅な減少となり、昨年の微増から減少に転じた。

各部屋利用回数の推移（回）



各部屋利用回数合計は 762 回、前年度から減少となっている。唯一の有料スペース（減免・無料もあり）である多目的ホールの利用回数合計は 347 回、前年度比は約 2%の上昇となった。しかし収入面では減少となった。

趣味室は来館された方が自由に囲碁や将棋を行うことで交流の場となっており、ほぼ毎日利用されている。焼窯庫については現在 1 団体のみ利用となっており、市の施設として幅広い方々に利用して頂けるよう検討していくことが必要である。その他、会議室・生きがい工房・教養娯楽室は利用許可こそ必要ではあるが無料のため、市内に限らず、市外の団体も利用されている。

②福祉の増進及び世代間交流促進に寄与する事業

例年同様に、併設デイサービスと合同で夏祭り・もちつき大会を開催するなどデイサービスでの活動を知って頂く機会を設け、昨年度に引き続き近隣の大型ショッピングモールへ団体登録し、キャンペーン活動に参加することで「ふれあいセンターながみね」及び「デイサービスながみね」の周知活動をすることができた。また、館内の装飾についても季節感のある雰囲気づくりに努め、来館されるお客様に季節の変化を感じて頂くことができた。今後も各種行事を施設一体となって協力し、多くの方々に参加してもらえるよう企画するとともに世代間交流がしやすい施設となるよう環境整備に力を入れていきたい。

③浴槽・プール等の水質管理

センターの主設備である浴槽・プールは運営上重要な位置づけであり、利用者の方が多く利用する設備である。レジオネラ属菌の検査を基準以上の回数で実施する等、水質の管理・清掃の徹底することで利用者が安全に利用できる施設として衛生管理に努めた。

○7/8 浴槽・15m プール・ワールプール配管洗浄

④センターの活性化対策（新しい取組など）

中庭の花壇整備やイルミネーションは変わらず好評であった。また、施設内外の環境整備も力を入れることができた。これらは、利用者にも評判がよく、職員と利用者の会話も増えるきっかけとなった。

更に、初めての試みとして「フォトコンテスト」を開催し、市内外かたから沢山の応募を頂けた。この試みについては、来館されたお客様にも投票という形で参加頂き楽しんで頂くことができた。

○8/18 夏祭り（予科練一座）

○9/15 敬老の日（市内在住 60 歳以上の方に無料利用券配布）

○フォトコンテスト

○11/1 イルミネーション点灯開始（～R2.2.29）

○12/26 もちつき大会

○1/4 新年大抽選会

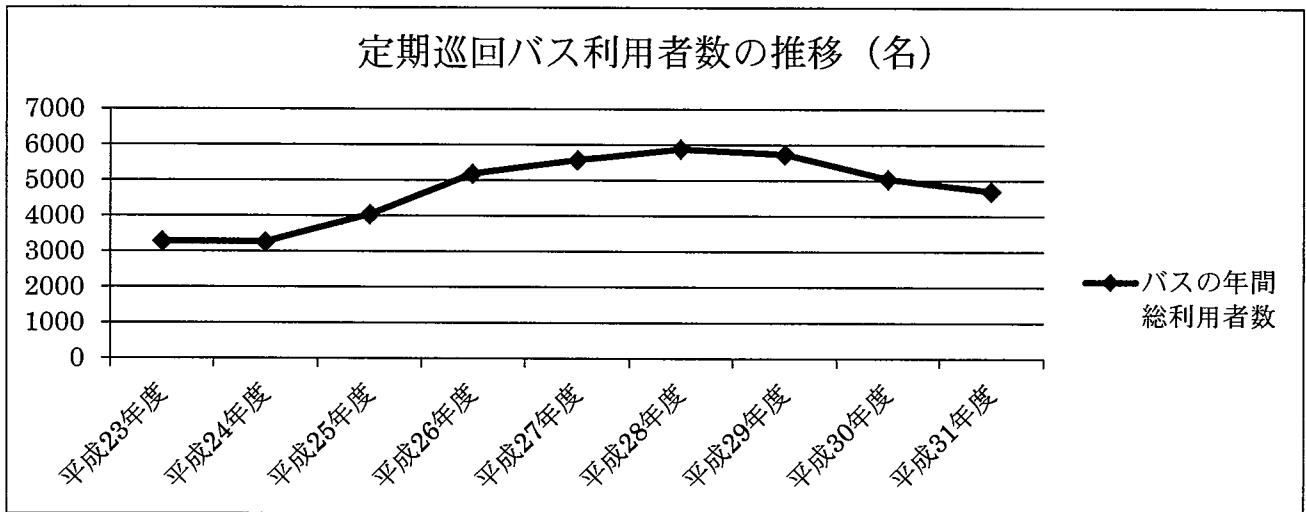
○3 月 雛飾り設置

⑤運営における安全確保

昨年設置した駐車場及び駐輪場の LED ライトのおかげで犯罪の抑止ができていると考える。不特定多数の方が利用する公共施設であるため、犯罪抑止効果、また職員が安心して働ける環境という点をより改善できるよう考えていきたい。また、営業時間中は定期巡回、営業時間外は自動警備を行い、防犯・防火に努めた。

⑥バスによる団体送迎・定期送迎の実施

* 乙戸地区ルート：(日) (水) (金) * 中村地区ルート：(火) (木) (土)



バスの利用者数については前年と同数の 4,701 名となっており、現在の定期送迎バスルート上のニーズが頭打ちになっているのか、そもそも定期バスの運行を認知されていないのか検討する余地があると考えます。また、現在の送迎ルートでは重複するコースが存在するため、重複を廃止して送迎範囲の拡大も含めた送迎ルートの見直しも必要と考えます。バス利用者が減少したためか、3 便目の店員オーバーによるピストン運行又はデイサービスの空き車両を利用した 4 便目の運行はあまり発生しなかった。

⑦その他センターの管理運営に必要な業務

○他施設との連携

定期的に他福祉センターとの会議を行うことによりお互いの問題を共通の課題として認識することができた。

* 老人福祉センター・ふれあいセンター長会議（6/19・9/25・12/19・3/27）

○委託業者との連携

機械設備、プール・浴室管理、清掃の業務委託を一括して（株）ビートに委託している。日常的な報告・連絡・相談はもちろんであるが月 1 回（第 4 木曜日）の定期会議を実施し、情報・課題の共有と問題解決を通して連携の強化を図ることができた。

* CPR 講習実施については毎年 3 月に行っているが、コロナウイルス感染防止のため延期となり、4/1 現在未実施となっている。尚、実施時期については未定。

○経費削減の実施

運用にかかる水光熱費は支出全体の 1/3 あまりを占めている。今後も継続して経費削減案を実行し、利用者の不便とならない範囲で支出の見直しに努めた。

(2) 施設及び設備等の維持管理

委託業者と連携を図り、運営に支障がないよう設備機器について日常的点検・清掃を行い、安全かつ快適に利用できる環境作りに努めた。開館から 16 年経過しているということもあり、設備の老朽化・消耗等による修理・修繕も多々あった。緊急対応を要する場合には迅速に土浦市に連絡・指示・協力を仰ぐことにより、大事に至らず運営を続けることができた。

①建物の維持管理

○4/8 温水ヘッダー用給湯バルブ交換工事

○7/24 プール窓ガラス修繕

- 11/25 プール窓ガラス修繕
- 1/27 正面玄関ハニカムパネル補修工事
- 3/13 温水ヘッダー（暖房系統）修繕
- 3/17 ミキシングバルブ交換工事
- 3/23 正面玄関自動ドア修繕

②消防設備保守点検

- 7/22 消防機器点検
- 1/27 消防設備点検

③電気設備

- 毎月 電気工作物点検
- 3/23 自家用電気工作物年次点検（全館停電）

④給排水設備

- 8/26 貯水槽・貯湯槽清掃及び点検

⑤機械日常管理業務委託

⑥地下燃料タンクの保守管理

- 12/13 重油地下タンク漏洩検査・点検
- 消防署による立入検査

(3) その他施設の運営に関わる維持管理

①防火管理

- 消防法に基づく点検（消防機器点検・自衛消防訓練・消防設備点検）
- 1/4 煤煙検査

②運動プール及び浴室等の衛生管理

- 定期清掃（毎月第4月曜日）：年計11回（コロナウイルスによる休館期間1回は実施せず）
- 水質検査（毎月第4火曜日）：年計11回（コロナウイルスによる休館期間1回は実施せず）

③センター内の保安警備

- 開館時間内：職員による定時巡回・目視による確認。
- 開館時間外：24時間体制での機械（警備保障会社）による監視。

④施設清掃業務

○日常清掃業務に加え、専門業者委託により床・カーペット・脱衣室・エアコンフィルター等の清掃を実施した。

○害虫駆除：5月27日、7月8日、8月26日、11月25日、2月14日

⑤廃棄物処理

○廃棄物搬出：毎週水・土曜日（清掃センターへ）

⑥緑地の維持管理

○季節に応じた維持管理をすることで気持ちの良い環境整備に努めた。

⑦緊急時の対応

○入浴中やプール遊泳中の体調悪化を防止するために注意喚起や巡視の徹底を行った。緊急時は一体となって利用者の生命を第一に対応し、特に併設デイサービス開館中は看護師との連携を重視した。

今年度は浴槽内の湯温を 40.5℃に設定し、「湯あたり」「ヒートショック」予防に努めた結果、その症状を訴えた利用者は減少した。

⑧防犯・防災対策

○防犯・防災・緊急時の対応マニュアルを整備。また、併設デイサービスとの合同避難訓練を年 2 回、同一法人事業所である特別養護老人ホームの夜間避難訓練にも参加した。

(4) センターの管理運営

①プール・浴室の管理運営

○監視職員は外部委託を行うが施設の運営上、プール・浴室の管理は重要な位置づけであることをそれぞれに理解し、訪れた方が繰り返し利用したいと思う施設になるよう努めた。

②送迎バス運転の管理運営

○送迎バスの運行で大きな事故もなく定期送迎・団体送迎を実施できた。

(5) センターの各種報告・調査及び統計資料の作成

○毎月 10 日に月報（実績）を土浦市へ報告。

○平成 31（令和元）年度年報を作成し、土浦市へ提出。

3. 自主事業

(1) 講座の開催

○委託業者である（株）ビートと共同で講座を開催した。プール設備が使用できない期間があったものの、全 14 講座中半数以上の口座で前年度よりも多くの方に参加頂けた。講座をきっかけにふれあいセンターを知ったという方も多く、また市報への情報掲載等によって施設の周知に繋げることができた。

【講座開催回数（回）・参加延人数（名）】

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
水中ウォーキング	3	4	3	—	—	2	4	4	—	4	4	—	28
	43	54	45	—	—	24	34	48	—	43	38	—	329
水中ウォーキング(初心者)	3	4	3	—	—	2	5	3	—	4	4	—	28
	45	56	46	—	—	33	87	50	—	53	58	—	428
水中ウォーキングプラス	3	4	3	—	—	2	5	3	—	4	4	—	28
	49	60	40	—	—	31	69	44	—	73	60	—	426
書道教室(A)	2	2	2	2	—	2	2	2	2	2	2	2	22
	20	17	20	19	—	18	18	18	20	40	41	38	269
書道教室(B)	2	2	2	2	—	2	2	2	2	2	2	2	22
	19	21	19	20	—	21	20	21	20	38	38	37	274

英会話	3	4	4	4	3	4	3	4	3	4	4	4	44
教室(A)	25	34	33	33	18	27	21	27	20	31	31	28	328
英会話	3	4	4	4	3	4	3	4	3	4	4	4	44
教室(B)	17	21	21	24	13	17	15	20	17	25	20	19	229
英会話	3	4	4	4	3	4	3	4	3	4	4	4	44
教室(C)	8	12	14	14	7	13	10	12	6	13	13	12	134
幼児	3	3	4	4	3	4	3	4	3	4	4	4	44
英会話教室	0	4	3	4	4	8	11	13	10	8	7	6	78
体力	3	4	3	—	—	2	4	4	—	4	4	2	30
アップ編	52	66	52	—	—	36	68	65	—	65	72	34	510
かんたん	3	4	3	—	—	2	5	3	—	4	4	2	29
ストレッチ体操	27	34	28	—	—	21	56	30	—	41	37	16	290
美ユウティ	3	4	4	4	1	2	5	4	3	4	4	2	40
ボディ	42	54	55	54	13	25	70	55	38	55	54	18	533
アクア	3	4	4	3	—	2	4	5	3	4	4	—	36
ZUNBA	31	41	37	29	—	25	36	45	26	37	35	—	342
ケーナ	1	3	2	—	—	2	1	2	1	2	1	3	18
教室	12	39	30	—	—	29	14	26	15	30	12	32	239
合計(回)	35	46	42	27	13	34	45	44	23	46	45	29	429
合計(人)	390	513	443	197	55	328	529	474	172	552	516	240	4,409

(2) デイサービスとの連携

デイサービスとの一体運営ということで特にデイサービス看護師との連携によって、体調不良者（湯あたり等）への対応を迅速かつ適切に行うことができた。また、夏祭りや餅つき大会の共催により、互いの利用者の交流や施設の周知活動に活用できた。

(3) 野菜販売

委託業者である（株）ビート主体となり、毎週火・木・金曜日の午前中に野菜販売を定期的を実施した。

